imagePROGRAF

Print Plug-In for Photoshop ガイド

Macintosh 用

目　次

はじめに iii
■ Print Plug-In の特長 iii
本書の読みかた iv
■ マークについて iv
■ ボタンの表記について iv
■ 画面について iv
■ 商標について iv

第 1 章　Print Plug-In のインストール 1-1
動作環境 1-1
■ 対応プリンタ 1-1
■ 動作環境 1-1
インストール手順 1-2
Print Plug-In の起動 1-5
アンインストール手順 1-7

第 2 章　Print Plug-In の機能 2-1
Print Plug-In の画面構成 2-1
■ 全シート共通部分 2-1
■［基本設定］シート 2-5
■［ページ設定］シート 2-8
■［色設定］シート 2-11
■［印刷履歴］シート 2-12
■［メンテナンス］シート 2-13
■［印刷履歴の詳細］ダイアログボックス 2-14

第 3 章　Print Plug-In を活用して印刷する 3-1
3 種類のプレビューを活用する 3-1
■［印刷範囲レイアウト 1］で画像を確認する 3-1
■［印刷範囲レイアウト 2］で画像を確認する 3-2
■ 画像プレビューで元画像を確認する 3-3
お好みの画質で印刷する 3-4
色を調整して印刷する 3-8
■ プレビュー表示で確認しながら色を調整する 3-8
■ カラーマッチングで色を調整する 3-12
■ AdobeRGB16bit 画像をきれいに印刷する 3-14
■ 高品質なモノクロの写真を印刷する 3-18

拡大／縮小して印刷する 3-20
■ 出力用紙サイズに合わせて拡大／縮小印刷する 3-20
■ ロール紙の幅に合わせて拡大／縮小印刷する 3-23
■ 倍率を指定して拡大／縮小印刷する 3-27
フチなしで印刷する 3-31
用紙の設定をカスタマイズする 3-34
印刷履歴を活用する 3-38
■ 印刷履歴の詳細を確認する 3-38
■ 印刷履歴を画像に適用する 3-40
■ 印刷履歴をお気に入りに登録する 3-41
■ 印刷履歴を削除する 3-44
■ お気に入りの印刷履歴を書き出す 3-46
■ お気に入りに印刷履歴を読み込む 3-48
■ お気に入りから印刷履歴を削除する 3-50
■ 情報を画像とともに印刷するよう設定する 3-52
索引 .... 索引 -1

はじめに

imagePROGRAF Print Plug-In for Photoshop（以下、Print Plug-In と呼びます）は、アドビシステムズ社のフォトレタッチソフトウェア「Photoshop」に組み込んで imagePROGRAF シリーズでの印刷をカスタマイズできる、専用のプラグインソフトウェアです。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

なお、本書は Mac OS での Print Plug-In 使用方法を説明しています。Windows での動作環境や使用方法については、「imagePROGRAF Print Plug-In for Photoshop ガイド Windows 用」をご覧ください。

■ Print Plug-In の特長

Print Plug-In の主な特長は以下のとおりです。

- sRGB 用または AdobeRGB 用の画像の色空間を自動認識し、最適なプロファイルを自動的に設定できます。このため、面倒な設定をすることなく AdobeRGB の印刷が実現できます。
- Photoshop 上の画像データを直接加工し、プリンタに画像データを転送することができます。これにより、RGB8bit だけでなく RGB16bit の画像データを処理することができます。
- 実画像を元にした画像プレビュー表示機能、出力用紙サイズ上の画像配置を元にしたレイアウトプレビュー機能によって、印刷レイアウトの確認や色調整ができます。
- プリンタの選択、用紙の種類、出力プロファイルの選択やマッチング方法などの基本的なプリンタの設定に加えて、フチなし印刷、拡大縮小処理などもプリンタドライバを経由せずに設定できます。
- 印刷履歴管理機能により、過去の印刷設定パラメータの読み込みができます。また、使用頻度が高い印刷履歴をお気に入りとして登録したり、お気に入りをファイルとして保存したりできます。

用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、Print Plug-In 上の設定（レイアウトプレビュー上の画像の配置、印刷開始位置、出力用紙サイズ）と異なる場合があります。詳しくはプリンタ本体のユーザーズマニュアルをご覧ください。

本書の読みかた

■ マークについて

本書では、安全のためにお守りしていただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをお勧めします。

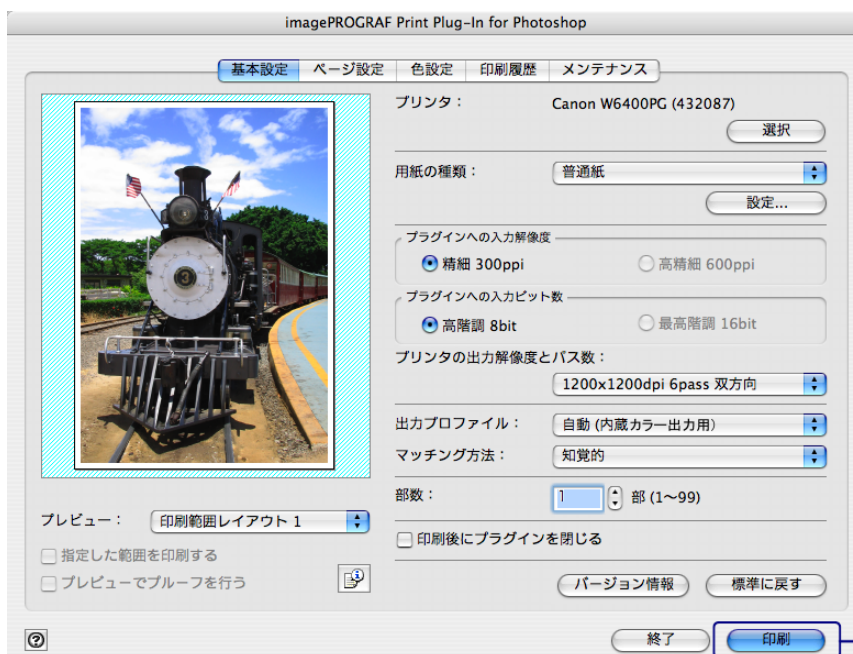
■ ボタンの表記について

本書では、ボタン名称を以下のように表しています。

- コンピュータ上のボタン：[ボタン名称]

  例：[OK]［設定］

■ 画面について

操作時にクリックするボタンの場所は、［　　　　］で囲んで表しています。また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいます。

■ 商標について

Canon、Canon ロゴ、imagePROGRAF は、キヤノン株式会社の商標または登録商標です。
Adobe および Photoshop は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標または商標です。
Intel、Pentium は、Intel Corporation のアメリカ合衆国及びその他の国における登録商標です。
Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

第 1 章　Print Plug-In のインストール

ここでは、Print Plug-In の動作環境、インストール方法、起動方法、アンインストール方法について説明しています。

動作環境

Print Plug-In の動作環境は、以下のとおりです。

■ 対応プリンタ

キヤノン　ラージフォーマットプリンタ W6400
キヤノン　ラージフォーマットプリンタ W8400
キヤノン　グラフィックカラープリンタ W2200S

■ 動作環境

対応 OS バージョン

Mac OS（9.1 ～ 9.2.2、10.1 ～ 10.3）

Mac OS X の Classic 環境での動作は、保証していません。

システム構成

Mac OS のバージョンによって、対応する Photoshop のバージョンが異なります。

Mac OS（10.1 ～ 10.3）の場合

Photoshop のバージョン	
Photoshop CS/CS2	Photoshop 7.0 ※ 1
CPU	
Power PC G3、G4、または G5 を搭載したコンピュータ	Power PC G3、G4、または G4 デュアルプロセッサを搭載したコンピュータ
メモリ	
192MB（CS）/320MB（CS2）以上（384MB 以上を推奨）	128MB 以上（192MB 以上を推奨）
ハードディスクの空き容量	
750MB（CS）/950MB（CS2）以上（仮想ディスクに大容量の空き容量を推奨）	550MB 以上（仮想ディスクに大容量の空き容量を推奨）
ディスプレイ／ビデオカード	
• 1,024 × 768以上の画面解像度をサポート • 16bit 以上のカラー表示が可能	• 800 × 600 以上の画面解像度をサポート • 16bit 以上のカラー表示が可能
その他	
CD-ROM ドライブ	

※ 1：一部対応していない場合があります。

Mac OS（9.1 ～ 9.2.2）の場合

Photoshop のバージョン	
Photoshop 7.0	Photoshop 6.0
CPU	
Power PC G3、G4、または G4 デュアルプロセッサを搭載したコンピュータ	Power PC G3、G4 を搭載したコンピュータ

メモリ	
128MB 以上（192MB 以上を推奨）	64MB 以上（96MB 以上を推奨）
ハードディスクの空き容量	
550MB 以上（仮想ディスクに大容量の空き容量を推奨）	130MB 以上（仮想ディスクに大容量の空き容量を推奨）
ディスプレイ／ビデオカード	
• 800 × 600 以上の画面解像度をサポート • 16bit 以上のカラー表示が可能	800 × 600 以上の画面解像度をサポート
その他	
CD-ROM ドライブ	

インストールが必要なソフトウェア

Photoshop、キヤノン imagePROGRAF プリンタドライバ 2005（以下、imagePROGRAF プリンタドライバと呼びます）

インストール手順

Print Plug-In をインストールする手順は、以下のとおりです。

1. Photoshop を終了します。
2. CD-ROM ドライブに、「User Software CD-ROM」を挿入します。
3. 「User Software CD-ROM」内の［Plug-in］フォルダを開き、ご使用の OS（OS9 または OSX）のフォルダ内の［W6400PG Plug-In For X］アイコンを開きます。

- アイコンの“W6400PG”はご使用のプリンタ名になります。
- アイコンの“X”はご使用の OS のバージョンになります。該当するバージョンのアイコンを選択してください。

4. Mac OS X の場合は、管理者の名前とパスワードを入力して、［OK］ボタンを押します。

Mac OS 9 の場合は、手順 5 に進んでください。

認証

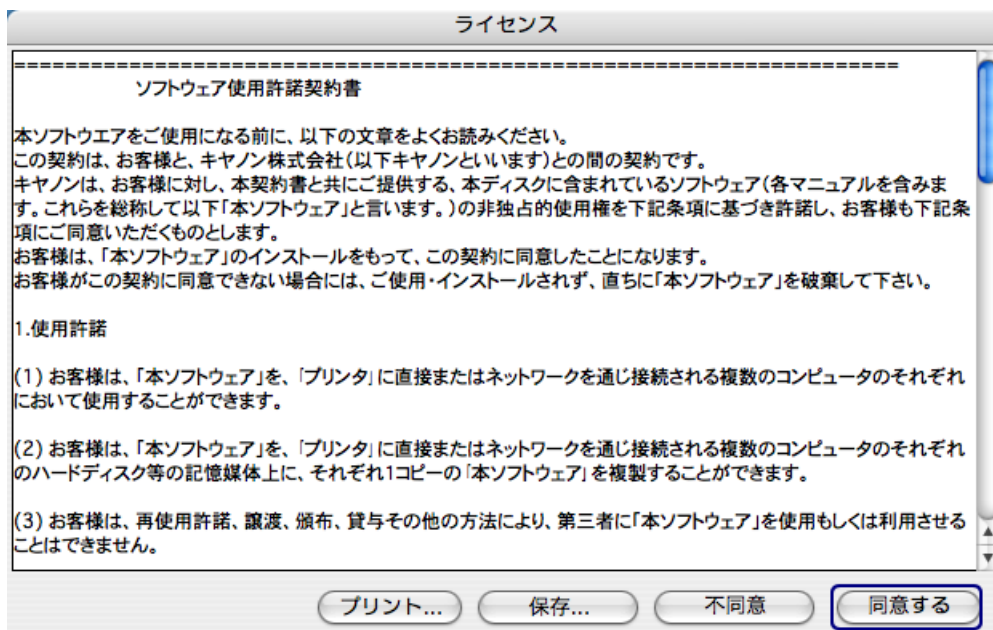
“W6400PG Plug-In for X”に変更を加えるには、あなたのパスワードを入力してください。

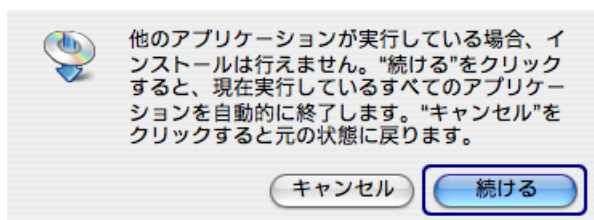
名前：

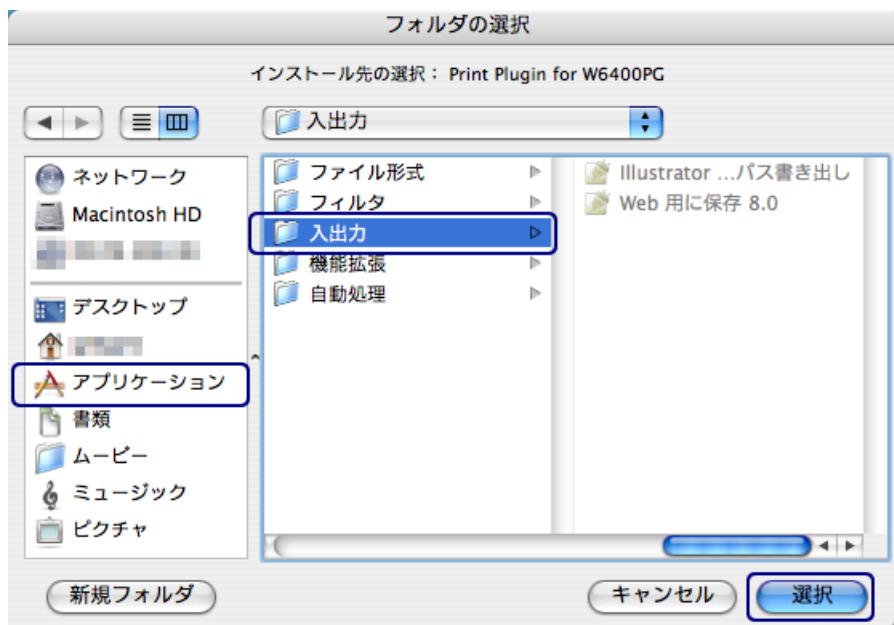
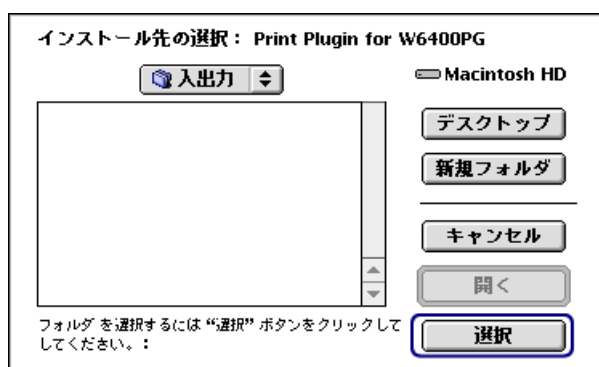
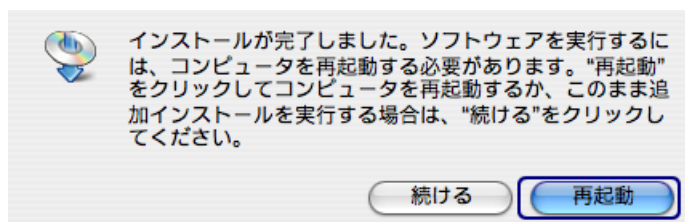
パスワード：

詳細な情報

キャンセル　OK

5. ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、［同意する］ボタンを押します。

6. ［インストール］ボタンを押します。

7. 他のアプリケーションを終了するために、［続ける］ボタンを押します。

8. ［アプリケーション:Photoshop:プラグイン:Adobe Photoshop Only:入出力］フォルダを選択して、［選択］ボタンを押します。

Mac OS X の場合

Mac OS 9 の場合

9. ［再起動］ボタンを押します。

Print Plug-In のインストールが終了します。

10.CD-ROM ドライブから「User Software CD-ROM」を取り出します。

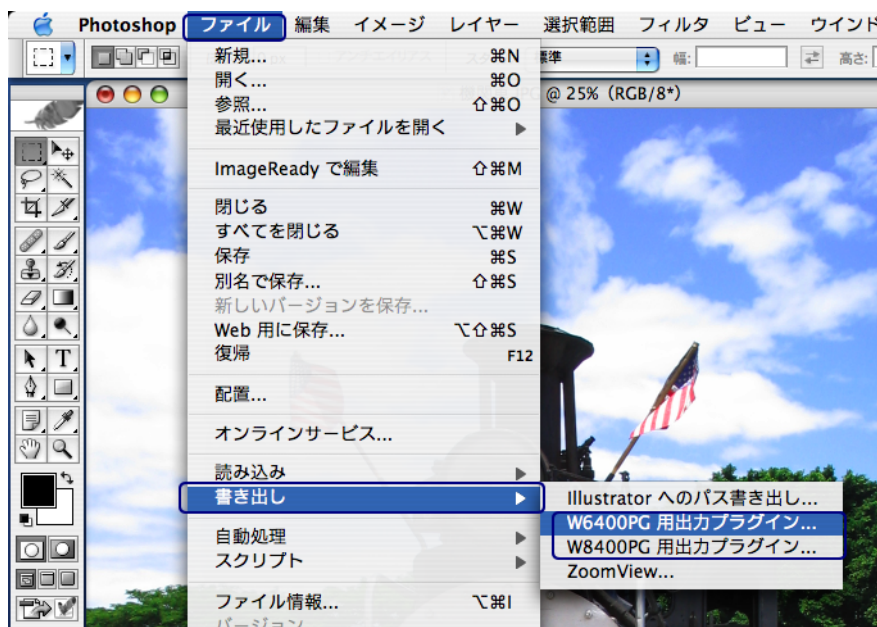
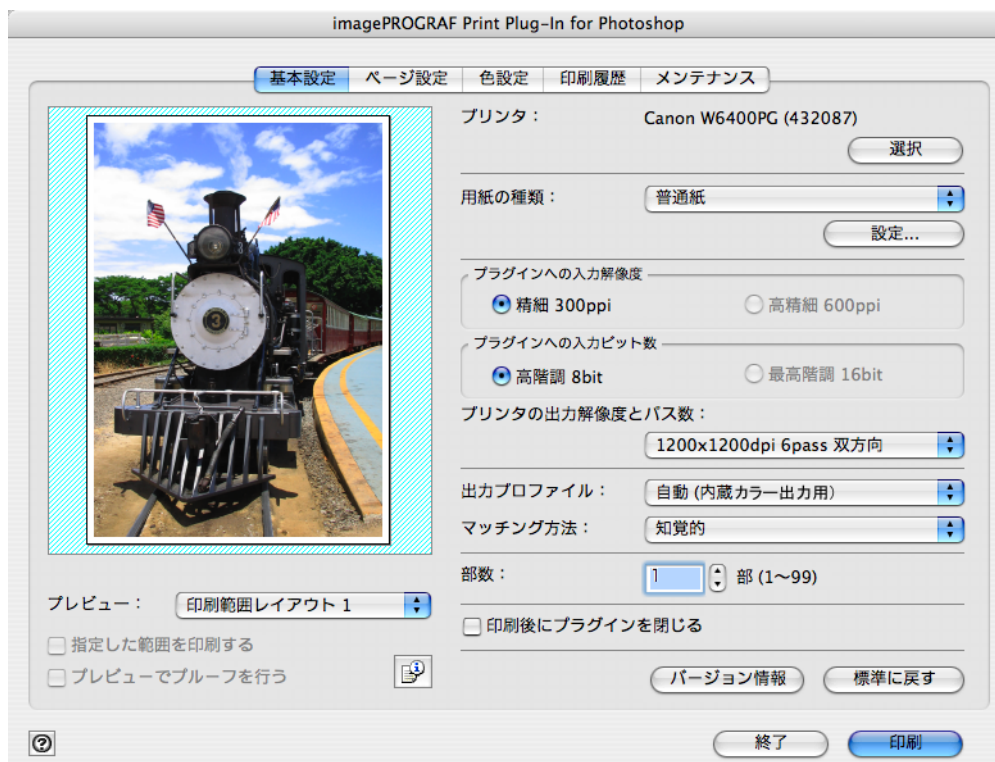
Print Plug-In の起動

Print Plug-In を起動する手順は、以下のとおりです。

1. Photoshop を起動します。
2. 印刷したい RGB カラーの画像を開きます。
3. 必要に応じて印刷する範囲を選択します。

Print Plug-In で扱える画像は、幅または高さが 30,000pixel 未満のものです。
画像の幅または高さが 30,000pixel 以上の画像は、選択範囲を小さくするか画像処理で小さくしてから、手順 3 を行ってください。

4. ［ファイル］メニューから［書き出し］（または［データ書き出し］）を選択して、ご使用のプリンタに合った出力プラグインを選択します。

   選択できる出力プラグインは、以下のとおりです。
   W6400PG 用出力プラグイン
   W8400PG 用出力プラグイン
   W2200 用出力プラグイン

imagePROGRAF Print Plug-In for Photoshop ウィンドウ（以下、Print Plug-In ウィンドウと呼びます）が表示されます。

- 以下のメッセージが表示されて、Print Plug-In ウィンドウが表示されない場合は、最新の imagePROGRAF プリンタ ドライバをインストールしてから、手順 3 を行ってください。
  「W6400PG 用 imagePROGRAF プリンタドライバのバージョン 2.41 以降がインストールされている環境が必要です。最新のドライバをインストールしてください。」
  （上記メッセージの“W6400PG”の部分はご使用のプリンタ名になります。）
- 以下のメッセージが表示されて、Print Plug-In ウィンドウが表示されない場合は、Mac OS 9.1 以上の環境で作業を行ってください。
  「お使いの環境では、このプラグインを使用できません。Mac OS 9.1 以上のシステムが必要です。」
- 以下のメッセージが表示されて、Print Plug-In ウィンドウが表示されない場合は、Photoshop を単独で起動してください。
  「Photoshop を複数起動している場合は、Plugin を起動できない場合があります。」
- 以下のメッセージが表示されて、Print Plug-In ウィンドウが表示されない場合は、画像を RGB に変換してから、手順 3 を行ってください。
  「画像の色空間を RGB カラーに設定してください。」

アンインストール手順

Print Plug-In をアンインストールする手順は、以下のとおりです。

1. Photoshop を終了します。
2. Finderで［Photoshop:プラグイン:Adobe Photoshop Only:入出力］フォルダ内の［Print Plugin for W6400PG］フォルダを表示させます。

- W6400PG”は、ご使用のプリンタ名になります。
- 通常、［Photoshop］フォルダは、Macintosh HD:アプリケーション内にあります。

3. ［Print Plugin for W6400PG］フォルダを削除します。

“W6400PG”は、ご使用のプリンタ名になります。

第 2 章　Print Plug-In の機能

ここでは、Print Plug-In の画面構成について説明しています。

Print Plug-In の画面構成

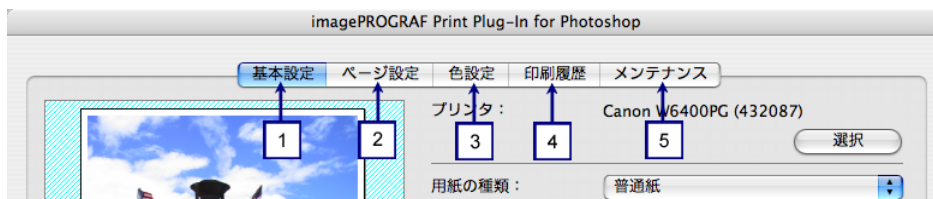
Print Plug-In ウィンドウは、5 つのシートから構成されており、各シートで印刷に関する設定を行うことができます。ここでは、Print Plug-In ウィンドウを以下の部位に分けて説明します。

「全シート共通部分」（p.2-1）
「[基本設定] シート」（p.2-5）
「[ページ設定] シート」（p.2-8）
「[色設定] シート」（p.2-11）
「[印刷履歴] シート」（p.2-12）
「[メンテナンス] シート」（p.2-13）
「[印刷履歴の詳細] ダイアログボックス」（p.2-14）

■ 全シート共通部分

以下の部分は、Print Plug-In ウィンドウの 5 つのシートに共通して表示されます。

シート選択エリア

Print Plug-In ウィンドウ上で各シートを切り替えるためのタブが表示されています。

タブを選択すると、各シートが表示されます。各シートで設定できる項目については以下をご覧ください。

1 ［基本設定］シート（**p.2-5**）

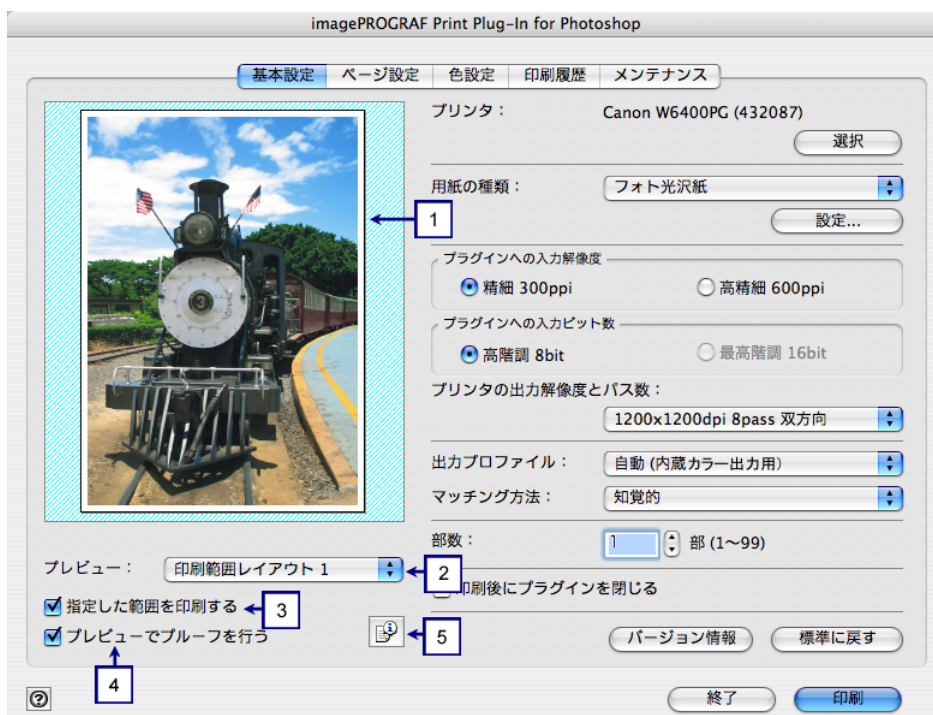
2 ［ページ設定］シート（**p.2-8**）

3 ［色設定］シート（**p.2-11**）

4 ［印刷履歴］シート（**p.2-12**）

5 ［メンテナンス］シート（**W8400PG、W6400PG のみ表示**）（**p.2-13**）

プレビューエリア

設定した内容が画像にどのように反映されるのかを確認することができます。

1　プレビュー表示

［プレビュー］で選択した表示方法で画像がプレビュー表示されます。
プレビュー表示について詳しくは、「3 種類のプレビューを活用する」（p.3-1）をご覧ください。

2 ［プレビュー］

プレビュー表示の方法を選択します。
プレビューについて詳しくは、「3 種類のプレビューを活用する」（p.3-1）をご覧ください。
［プレビュー］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

設定項目	内容
［印刷範囲レイアウト 1］	設定した［出力用紙サイズ］に合わせたレイアウトで、印刷有効領域だけが表示されます。 • カーソルが表示のときに画像をドラッグすると、画像の印刷位置を変更できます。
［印刷範囲レイアウト 2］	設定した［出力用紙サイズ］に合わせたレイアウトで、印刷有効領域外もあわせて表示されます。 • カーソルが表示のときに画像をドラッグすると、画像の印刷位置を変更できます。
［画像］	画像全体が表示されます。 • カーソルが表示のときに画像をドラッグすると、印刷範囲を選択することができます。 • カーソルが表示のときに、画像をクリックすると、選択が解除されます。

3 ［指定した範囲を印刷する］

チェックマークを付けると、選択範囲だけが印刷されます。

［プレビュー］で［画像］を選択し、プレビュー表示で画像の一部を選択すると有効になります。

4 ［プレビューでプルーフを行う］

チェックマークを付けると、プレビューに出力結果の色をシミュレーションして表示されます。

- ［出力プロファイル］で［自動（内蔵カラー出力用）］を選択した場合は、一部のメディア、解像度、パス数に対して有効になります。また、［出力プロファイル］で ICC プロファイルを選択した場合は、常に有効です。
- ご使用の環境や条件などにより、シミュレーションの結果と、実際の印刷結果の色合いが異なる場合があります。また、［出力プロファイル］で、使用するプリンタやメディアに対応しない ICC プロファイルを選択した場合、実際の印刷結果とは異なる色合いになります。

5

ボタンを押すと、[画像のプロパティ」ダイアログボックスが表示され、Print Plug-In に読み込んだ画像の画像サイズ、解像度、ビット数、色空間情報が表示されます。
［閉じる］ボタンを押すと、Print Plug-In に戻ります。

ボタンエリア

[印刷]、[終了]、のボタンがあります。

1

ボタンを押すと、Print Plug-In のヘルプが表示されます。

2 ［終了］ボタン

ボタンを押すと、Print Plug-In ウィンドウを閉じ、Photoshop に戻ります。

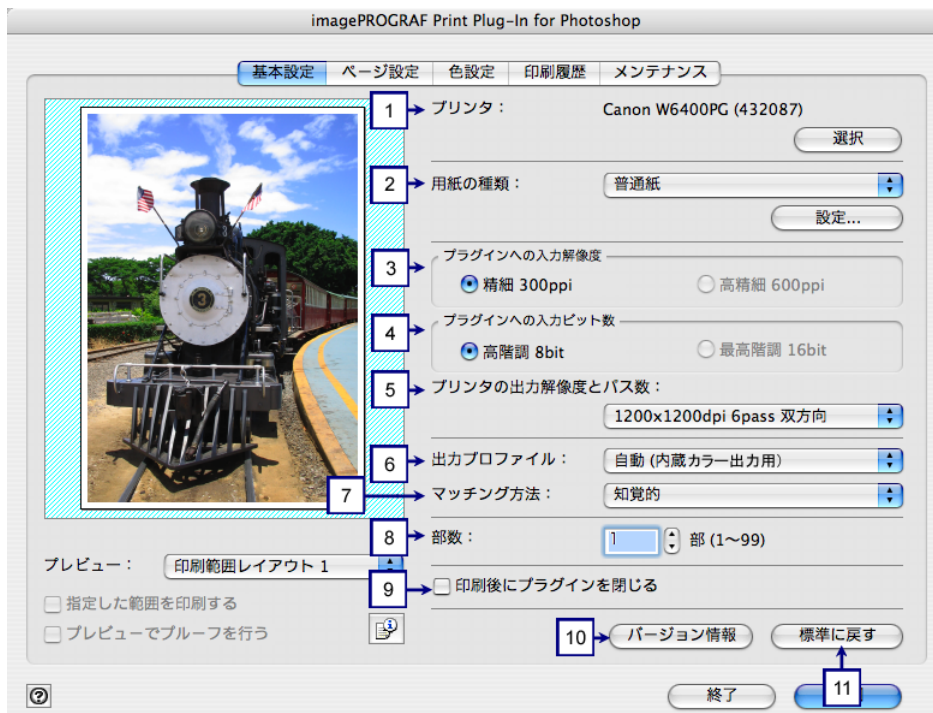
3 ［印刷］ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

メモ

［基本設定］シートの［印刷後にプラグインを閉じる］にチェックマークを付けると、印刷終了後に Print Plug-In ウィンドウを閉じ、Photoshop に戻ります。

■［基本設定］シート

プリンタの選択、用紙の種類設定や画像の品質など、基本的な設定を行います。

1 ［プリンタ］

プリンタの機種が表示されます。

設定項目	内容
［選択］ボタン	ボタンを押すと、［プリンタの選択］ダイアログボックスが表示されます。［プリンタの選択］ダイアログボックスでプリンタを選択して［OK］ボタンを押すと、Print Plug-In に対応するプリンタを変更することができます。 • ［プリンタ］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

2 ［用紙の種類］

用紙の種類を選択します。
詳しくは、「用紙の設定をカスタマイズする」（p.3-34）をご覧ください。

設定項目	内容
［設定］ボタン （W8400PG、W6400PG のみ表示）	ボタンを押すと、［用紙の詳細設定］ダイアログボックスが表示され、用紙の種類に対して［インク乾燥時間］や［ロール紙の安全余白］などを詳細に設定することができます。

- 選択できる用紙の種類は、プリンタによって異なります。
- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。
- W8400PG、W6400PG では、選択肢に❗が表示される場合があります。❗は、現在選択中のインクの種類が不適切だと判断された用紙を示します。インクの種類を変更するには、「インクの種類を変更するには」（p.2-13）をご覧ください。
- ［用紙の種類］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

3 ［プラグインへの入力解像度］

Print Plug-In で処理する画像の解像度を選択します。
解像度には、以下の設定があります。

設定項目	内容
［精細 300ppi］	精細な解像度で画像処理が行われます。印刷速度とメモリ容量の抑制に効果があります。
［高精細 600ppi］	より高精細な解像度で画像処理が行われます。最良の印刷結果が得られますが、［精細 300ppi］を選択した場合より印刷に時間がかかります。また、メモリ容量が多く必要になります。 • ［用紙の種類］で設定した内容によっては、表示されない場合があります。

［プラグインへの入力解像度］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

4 ［プラグインへの入力ビット数］

Print Plug-In で処理するビット数を選択します。
入力ビット数には、以下の設定があります。

設定項目	内容
［高階調 8bit］	8bit ／チャンネル（24 ビット）で画像処理が行われます。
［最高階調 16bit］	16bit ／チャンネル（48 ビット）で画像処理が行われます。 • ［用紙の種類］と［プラグインへの入力解像度］で設定した内容によっては、表示されない場合があります。

［プラグインへの入力ビット数］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

5 ［プリンタの出力解像度とパス数］

印刷する出力解像度とパス数を選択します。
出力解像度とは、印刷画像を構成するインクの点の密度のことで、この値が大きいほど、滑らかな仕上がりになります。
パス数とは、1 ラインの印刷に、プリントヘッドが往復する回数のことで、この値が大きいほど、画像ムラのない均一な仕上がりになります。

- 選択できる設定は、設定した用紙の種類、プラグインへの入力解像度、プラグインへの入力ビット数によって異なります。
- ［プリンタの出力解像度とパス数］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

6 ［出力プロファイル］

出力プロファイルを選択します。
出力プロファイルには、以下の設定があります。

設定項目	内容
［自動（内蔵カラー出力用）］	入力画像データの色空間情報（sRGB,AdobeRGB..）や、用紙の設定などから最適な色変換が行われます。通常はこの設定を選択してください。
［自動（内蔵モノクロ出力用）］（W8400PG、W6400PG のみ表示）	入力画像データの色空間情報（sRGB, AdobeRGB..）や、用紙の設定等から最適なモノクロへの変換を行います。
［なし（色補正しない）］	プラグインで色変換を行いません。オリジナルの ICC プロファイルを作成する場合に便利です。
［その他の ICC プロファイル］	OS 標準のフォルダに保存されている ICC プロファイルから、出力するプリンタの ICC プロファイルを選択します。入力データの色空間情報と、選択した ICC プロファイルを使用して色変換が行われます。

- ［出力プロファイル］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。
- [自動（内蔵モノクロ出力用）] は、対応する用紙の種類にのみ選択できます。

7 ［マッチング方法］

色変換を行う際の処理方法を選択します。
マッチング方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
［知覚的］	自然な色合いや階調に変換されます。写真の色補正に適しています。
［彩度］	色の鮮やかさを重視して変換されます。写真やイラストの色合いが変わることがあります。グラフやチャートなどのビジネス文書の色補正に適しています。
［相対的な色域を維持］	画像の色合いを重視して変換されます。写真やイラストの色補正に適しています。

- ［出力プロファイル］が、［自動（内蔵モノクロ出力用）］および［なし（色補正しない）］の場合、選択することはできません。
- ［マッチング方法］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

8 ［部数］

印刷する部数を半角数字で入力します。

- 入力できる数値は 1 ～ 99 です。
- ［▲］ボタンまたは［▼］ボタンを押しても、数値を変更することができます。
- ［部数］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

9 ［印刷後にプラグインを閉じる］

チェックマークを付けると、印刷後に Print Plug-In ウィンドウを閉じ、Photoshop に戻ります。

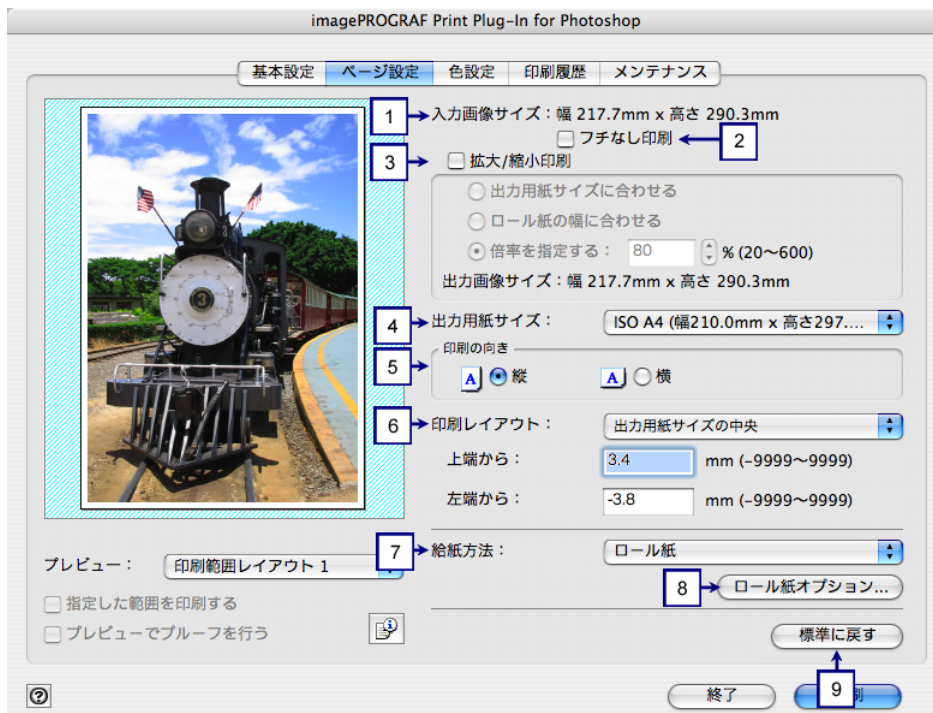
10［バージョン情報］ボタン

ボタンを押すと、Print Plug-In のバージョン情報ウィンドウが表示されます。バージョン情報ウィンドウの［OK］ボタンを押すと、Print Plug-In ウィンドウに戻ります。

11［標準に戻す］ボタン

ボタンを押すと、［基本設定］シートで設定した項目が初期値に戻ります。

■［ページ設定］シート

印刷する画像のサイズや用紙のサイズ、画像の拡大／縮小などについて設定します。

1 ［入力画像サイズ］

Print Plug-In に読み込んだ画像のサイズが表示されます。

2 ［フチなし印刷］（W8400PG、W6400PG のみ表示）

チェックマークを付けると、［ロール紙幅の指定］ダイアログボックスが表示され、画像をフチなしで印刷するよう設定することができます。
フチなし印刷について詳しくは、「フチなしで印刷する」（p.3-31）をご覧ください。

［給紙方法］で［カット紙］が設定されている場合は、選択できません。

3 ［拡大 / 縮小印刷］

チェックマークを付けると、画像を拡大／縮小して印刷することができます。
画像を拡大／縮小する場合は拡大／縮小の方法を選択します。選択した方法に合わせて、［出力画像サイズ］にプリンタに送信される画像サイズが表示されます。
拡大／縮小印刷には、以下の設定があります。

設定項目	内容
［出力用紙サイズに合わせる］	Print Plug-In に読み込んだ画像が、出力する用紙サイズに合わせて、全体的に拡大／縮小されて印刷されます。
［ロール紙の幅に合わせる］ （W8400PG、W6400PG のみ表示）	Print Plug-In に読み込んだ画像が、ロール紙の幅に合わせて、全体的に拡大／縮小されて印刷されます。 • ［給紙方法］で［カット紙］が設定されている場合は、表示されません。
［倍率を指定する］	Print Plug-In に読み込んだ画像が指定した倍率で拡大／縮小されます。 倍率を半角数字で入力してください。設定できる倍率は 20 ～ 600% です。 • ［▲］ボタンまたは［▼］ボタンを押しても、数値を変更することができます。

［フチなし印刷］にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

4 ［出力用紙サイズ］

印刷する用紙のサイズを選択します。

- 選択できる出力用紙サイズは、プリンタによって異なります。
- ［フチなし印刷］にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
- ［拡大 / 縮小印刷］の［ロール紙の幅に合わせる］が設定されている場合は、表示されません。
- ［出力用紙サイズ］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

5 ［印刷の向き］

印刷の向きを選択します。
印刷の向きには、以下の設定があります。

設定項目	内容
［縦］	画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
［横］	画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

6 ［印刷レイアウト］

用紙に対する画像を印刷する位置を選択します。
印刷レイアウトには、以下の設定があります。

設定項目	内容	
［左上］	［出力用紙サイズ］に対して有効な印刷領域の左上に画像が印刷されます。	
［出力用紙サイズの中央］	画像の中心が、選択した［出力用紙サイズ］の中央になるように印刷されます。	
［印刷開始位置を指定］	［出力用紙サイズ］に対して、印刷領域の上端の開始位置を［上端から］で、左端の開始位置を［左端から］で指定して印刷することができます。	
	上端から	用紙の上からの余白を半角数字で入力します。 • 入力できる数値は、-9999 ～ 9999mm です。
	左端から	用紙の左からの余白を半角数字で入力します。 • 入力できる数値は、-9999 ～ 9999mm です。
［ロール紙幅の中央］（W8400PG、W6400PG のみ表示）	画像の中心が、選択したロール紙幅の中心にくるように印刷されます。 • ［給紙方法］で［カット紙］が設定されている場合は、表示されません。	

- プレビュー表示上で画像をドラッグしても印刷する位置を指定することができます。詳しくは、「3 種類のプレビューを活用する」（p.3-1）をご覧ください。
- ［フチなし印刷］にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
- ［拡大 / 縮小印刷］で［ロール紙の幅に合わせる］が設定されている場合は、表示されません。
- ［拡大 / 縮小印刷］で［出力用紙サイズに合わせる］が設定されている場合は、表示されません。
- ［用紙の種類］や用紙の詳細設定及びプリンタ本体の設定によっては、［印刷レイアウト］の設定と、実際の印刷結果が異なる場合があります。

7 ［給紙方法］

給紙方法を選択します。
給紙方法には、以下の設定があります。

W8400PG、W6400PG の場合

設定項目	内容
［ロール紙］	ロール紙に出力します。
［カット紙］	カット紙に出力します。

W2200S の場合

設定項目	内容
［自動］	プリンタ本体で設定された給紙方法で出力します。
［カセット 1］、［カセット 2］	選択したカセットに出力します。
［手差し］	手差し給紙口に出力します。

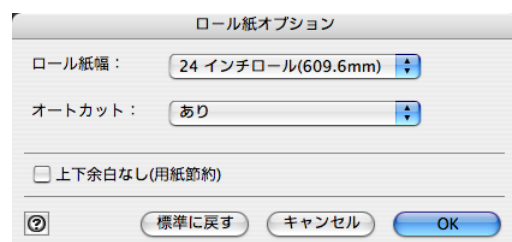
［給紙方法］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

8 ［ロール紙オプション］ボタン（W8400PG、W6400PG のみ表示）

ボタンを押すと、［ロール紙オプション］ダイアログボックスが表示され、ロール紙の幅やオートカット設定などを設定することができます。

［給紙方法］で［カット紙］が設定されている場合は、表示されません。

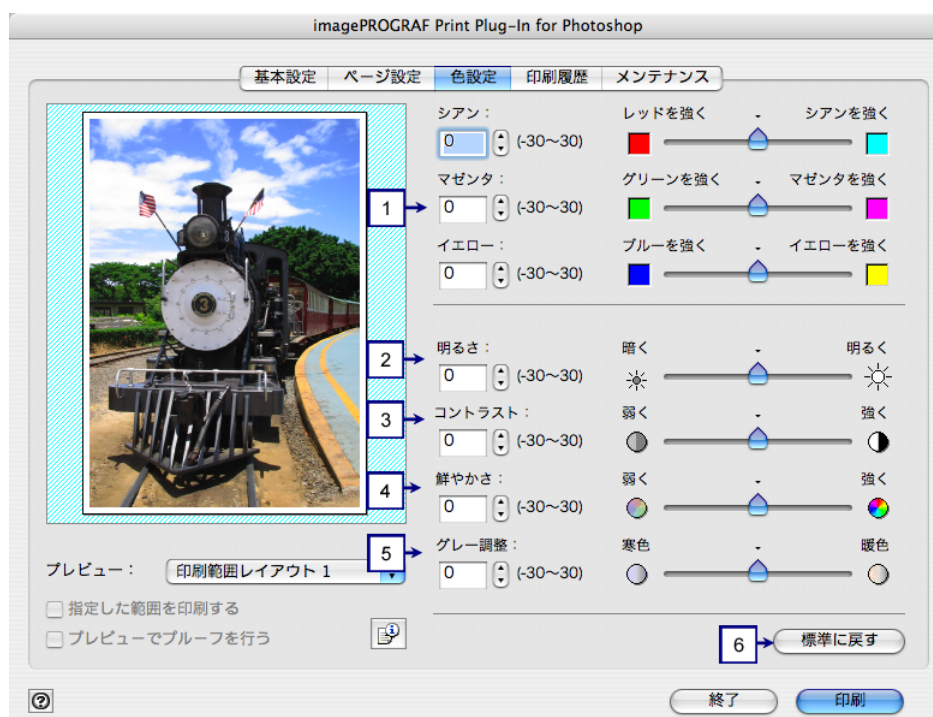
［ロール紙オプション］ダイアログボックス

ロール紙オプション
ロール紙幅： 24 インチロール(609.6mm)
オートカット： あり
上下余白なし(用紙節約)
標準に戻す　キャンセル　OK

設定項目		内容
［ロール紙幅］		プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します • 選択できるロール紙幅は、プリンタによって異なります。
［オートカット］	［あり］	印刷終了後、自動的に用紙がカットされます。
	［なし］	印刷終了後、用紙は自動的にカットされないため、手動でカットする必要があります。
	［カットラインを印刷］	印刷終了後、用紙は自動的にカットされません。手動でカットするためのカットラインが印刷されます。
［上下余白なし（用紙節約）］		チェックマークを付けると、ロール紙の上下に余白を設定せずに印刷されます。

9 ［標準に戻す］ボタン

ボタンを押すと、［ページ設定］シートで設定した項目が初期値に戻ります。

■［色設定］シート

画像の「色調」、「明るさ」「コントラスト」、「鮮やかさ」などを調整して、印刷結果をより思いどおりの色合いに設定することができます。

1 ［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］

半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、各色の強弱が調整されます。

- 調整具合は、プレビュー表示で確認することができます。
- ［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

2 ［明るさ］

半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、最も明るい部分と最も暗い部分を損なわずに印刷結果の明るさが調整されます。

- 調整具合は、プレビュー表示で確認することができます。
- ［明るさ］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

3 ［コントラスト］

半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、最も明るい部分と最も暗い部分の明るさが相対的に調整されます。

- 調整具合は、プレビュー表示で確認することができます。
- ［コントラスト］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

4 ［鮮やかさ］

半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、ビビッドな色合いからくすんだ色合いまで鮮やかさが調整されます。

- 調整具合は、プレビュー表示で確認することができます。
- ［鮮やかさ］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

5 ［グレー調整］

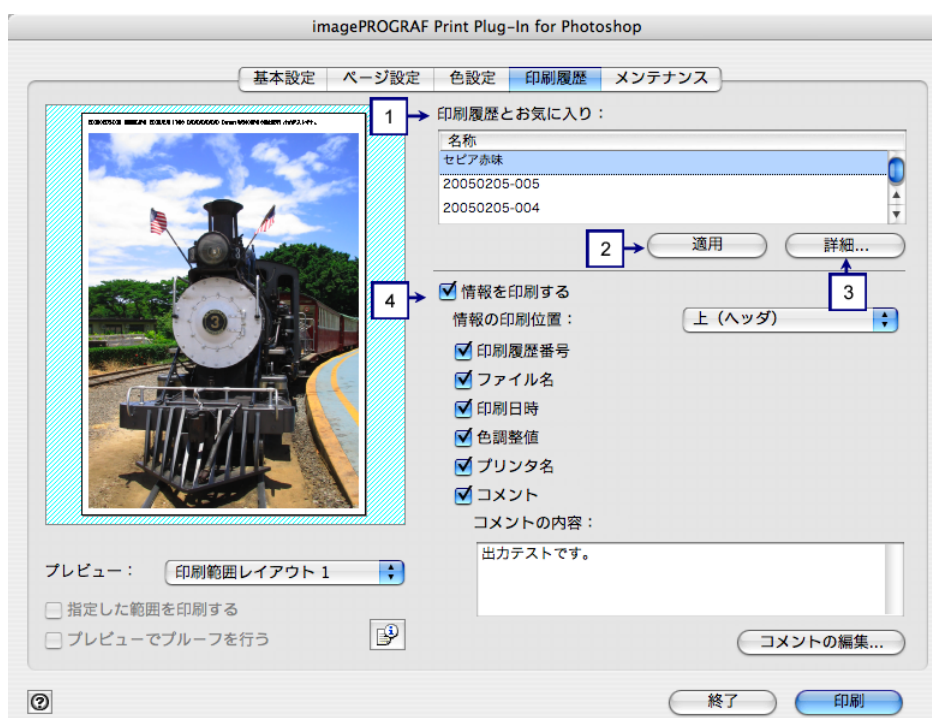
半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、グレーの色が寒色（青みがかった色合い）から暖色（赤みがかった色合い）まで調整されます。

- 調整具合は、プレビュー表示で確認することができます。
- ［グレー調整］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

6 ［標準に戻す］ボタン

ボタンを押すと、［色設定］シートで設定された項目が初期値に戻ります。

■［印刷履歴］シート

印刷に使用した設定の履歴を適用したり、画像のファイル名などの情報を画像とともに印刷する設定を行います。

1 ［印刷履歴とお気に入り］

印刷履歴および登録されたお気に入りが一覧で表示されます。

一覧上部にはお気に入りが 3 件まで表示されます。

2 ［適用］ボタン

ボタンを押すと、［印刷履歴とお気に入り］で選択された印刷履歴の設定内容が画像に適用されます。

3 ［詳細］ボタン

ボタンを押すと、［印刷履歴の詳細］ダイアログボックスが表示され、印刷履歴の管理を詳細に行うことができます。詳しくは、「［印刷履歴の詳細］ダイアログボックス」（p.2-14）をご覧ください。

4 ［情報を印刷する］

チェックマークを付けると、画像とともにファイル名や印刷日時などを印刷することができます。印刷する位置や内容については、以下の項目を設定する必要があります。
詳しくは、「情報を画像とともに印刷するよう設定する」（p.3-52）をご覧ください。

設定項目	内容	
［情報の印刷位置］	情報を印刷する位置を選択します。	
	［上（ヘッダ）］	画像の上に情報が印刷されます。
	［下（フッタ）］	画像の下に情報が印刷されます。
［印刷履歴番号］	チェックマークを付けると、印刷履歴番号が印刷されます。	
［ファイル名］	チェックマークを付けると、ファイル名が印刷されます。	
［印刷日時］	チェックマークを付けると、印刷日時が印刷されます。	
［色調整値］	チェックマークを付けると、色調整値が印刷されます。	
［プリンタ名］	チェックマークを付けると、プリンタ名が印刷されます。	
［コメント］	チェックマークを付けると、コメントが印刷されます。	
［コメントの内容］	コメントの内容が表示されます。	
［コメントの編集］ボタン	ボタンを押すと、［コメントの編集］ダイアログボックスが表示され、コメントを編集することができます。 • 入力できるコメントは、半角で 255 字以内、全角で 127 字以内です。	

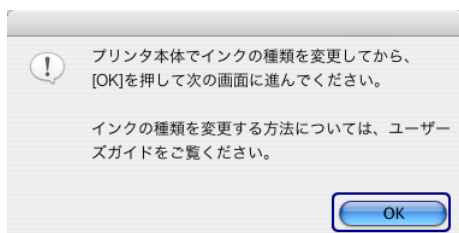
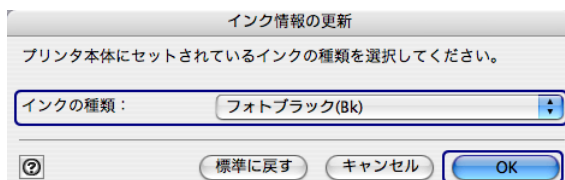
■［メンテナンス］シート（W8400PG、W6400PG のみ表示）

プリンタ本体にセットされているインクの種類を変更した場合に、インク情報を更新します。

インクの種類を変更するには

インクの種類を変更する手順は、以下のとおりです。

1. ［メンテナンス］シートで を押します。

2.［OK］ボタンを押します。

3.［インクの種類］で、プリンタ本体にセットされているインクの種類を選択して、［OK］ボタンを押します。

■［印刷履歴の詳細］ダイアログボックス

印刷履歴の管理を行います。
詳しい使用方法については、「印刷履歴を活用する」（p.3-38）をご覧ください。

1　印刷履歴

印刷履歴が一覧で表示されます。

表示項目	内容
［印刷履歴番号］	印刷履歴の管理番号が表示されます。
［ファイル名］	画像のファイル名が表示されます。
［印刷日時］	印刷日時が表示されます。
［コメント］	コメントの内容が表示されます。

- 表示可能な印刷履歴は最大 100 件までです。100 件を超えると、古い履歴から削除されます。
- キャンセルやエラーにより正常に印刷できなかった場合、印刷履歴番号の左側に ✕ が表示されます。

2 ［削除］ボタン

ボタンを押すと、選択されている印刷履歴が削除されます。

3

ボタンを押すと、選択されている印刷履歴がお気に入りに登録されます。

お気に入りは最大 50 件まで追加できます。

4 お気に入り

お気に入りに登録した印刷履歴が一覧で表示されます。

選択してドラッグすると、並び順を変更することができます。

5 ［読み込み］ボタン

ボタンを押すと、ファイルとして保存されている印刷履歴を読み込むことができます。

6 ［書き出し］ボタン

ボタンを押すと、お気に入りに登録されている印刷履歴をファイルとして保存することができます。

7 ［削除］ボタン

ボタンを押すと、お気に入りに登録された印刷履歴を削除することができます。

8 設定内容

［印刷履歴］または［お気に入り］で選択された印刷履歴の内容が表示されます。

設定項目	内容
［基本設定］	選択すると、［基本設定］シートで設定した内容が表示されます。
［ページ設定］	選択すると、［ページ設定］シートで設定した内容が表示されます。
［色設定］	選択すると、［色設定］シートで設定した内容が表示されます。
［メンテナンス］（W8400PG、W6400PG のみ表示）	選択すると、［メンテナンス］シートで設定した内容が表示されます。

第 3 章 Print Plug-In を活用して印刷する

ここでは、Print Plug-In の活用方法を説明しています。

「3 種類のプレビューを活用する」（p.3-1）
「お好みの画質で印刷する」（p.3-4）
「色を調整して印刷する」（p.3-8）
「拡大／縮小して印刷する」（p.3-20）
「フチなしで印刷する」（p.3-31）※
「用紙の設定をカスタマイズする」（p.3-34）※
「印刷履歴を活用する」（p.3-38）
※：W8400PG、W6400PG に対応

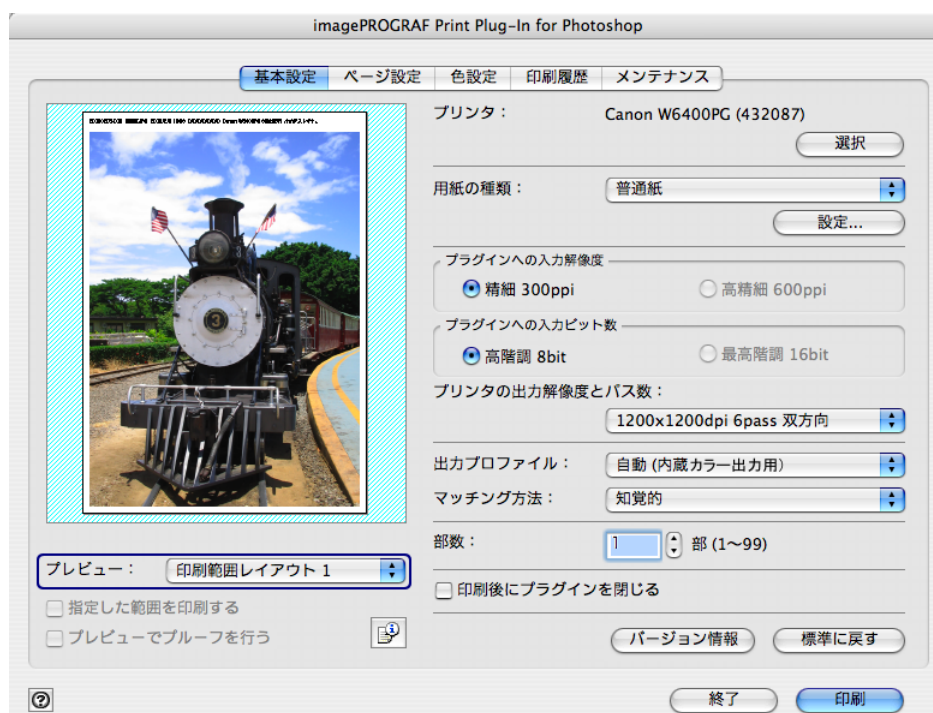
3 種類のプレビューを活用する

Print Plug-In では、3 種類のプレビュー表示で画像を確認することができます。
プレビュー表示の種類は、以下のとおりです。

「[印刷範囲レイアウト 1] で画像を確認する」（p.3-1）
「[印刷範囲レイアウト 2] で画像を確認する」（p.3-2）
「画像プレビューで元画像を確認する」（p.3-3）

■ [印刷範囲レイアウト 1] で画像を確認する

[印刷範囲レイアウト 1] では、設定した [出力用紙サイズ] に合わせたレイアウトで、印刷有効領域だけが表示されます。

[プレビュー] で、[印刷範囲レイアウト 1] を選択します。

プレビュー表示上でカーソルがの状態になると、画像をドラッグして印刷位置を指定することができます。カーソルがの状態になるのは、［基本設定］シートで以下の条件をすべて満たしているときです。

- ［フチなし印刷］のチェックマークが付いていない（［フチなし印刷］は、W8400PG、W6400PG の場合のみ表示されます）。
- ［拡大 / 縮小印刷］のチェックマークが付いていない、または［倍率を指定する］が選択されている。
- ［印刷レイアウト］で、［ロール紙幅の中央］が選択されていない（［ロール紙幅の中央］は、W8400PG、W6400PG の場合のみ表示されます）。

■［印刷範囲レイアウト 2］で画像を確認する

［印刷範囲レイアウト 2］では、設定した［出力用紙サイズ］に合わせたレイアウトで、印刷有効領域以外もあわせて表示されます。

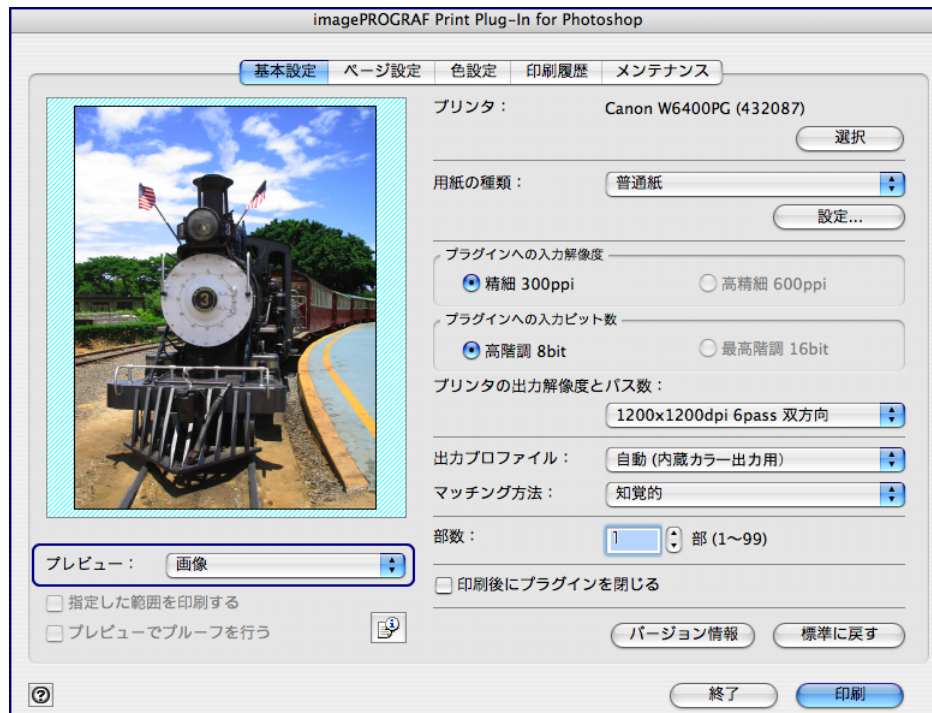
［プレビュー］で、［印刷範囲レイアウト 2］を選択します。

プレビュー表示上でカーソルがの状態になると、画像をドラッグして印刷位置を指定することができます。カーソルがの状態になるのは、［基本設定］シートで以下の条件をすべて満たしているときです。

- ［フチなし印刷］のチェックマークが付いていない（［フチなし印刷］は、W8400PG、W6400PG の場合のみ表示されます）。
- ［拡大 / 縮小印刷］のチェックマークが付いていない、または［倍率を指定する］が選択されている。
- ［印刷レイアウト］で、［ロール紙幅の中央］が選択されていない（［ロール紙幅の中央］は、W8400PG、W6400PG の場合のみ表示されます。）。

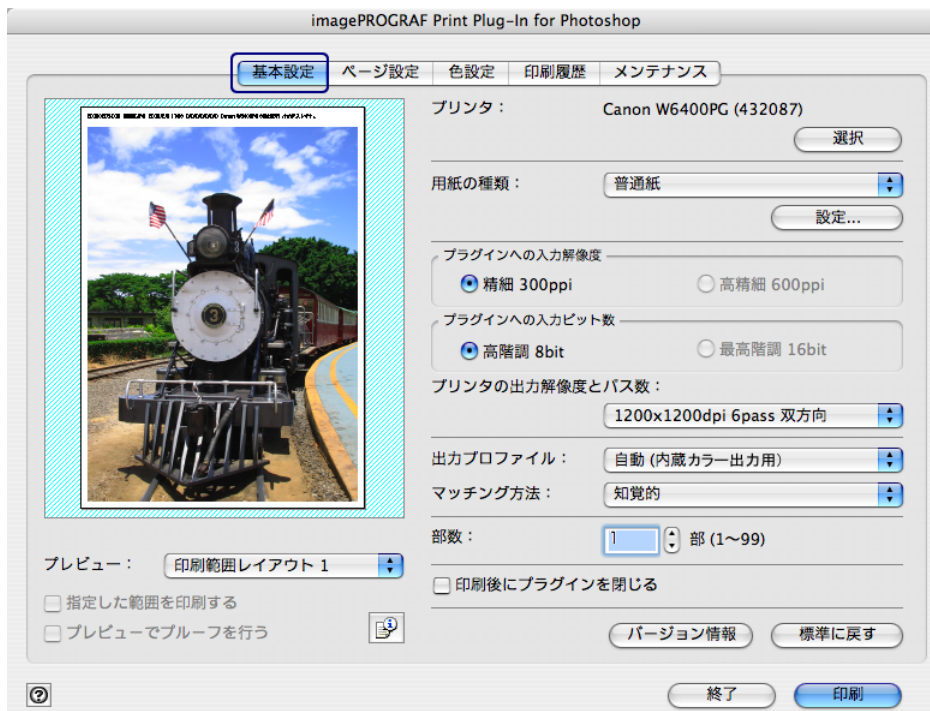
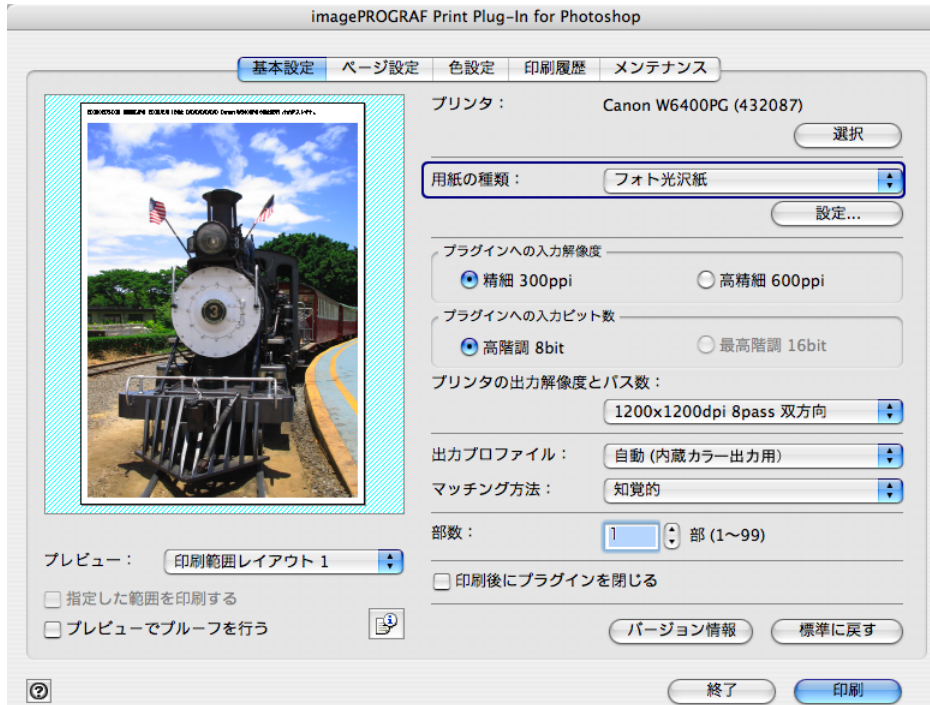
■ 画像プレビューで元画像を確認する

画像プレビューでは、入力された画像全体を確認することができます。

［プレビュー］で、［画像］を選択します。

- ［プレビュー］で［画像］を選択している場合は、カーソルが の状態でプレビュー表示上をドラッグすると、［指定した範囲を印刷する］が有効になり、選択範囲だけを印刷することができます。
- カーソルが の状態でプレビュー表示上をクリックすると、選択が解除されます。

お好みの画質で印刷する

お好みの解像度を指定して、印刷することができます。

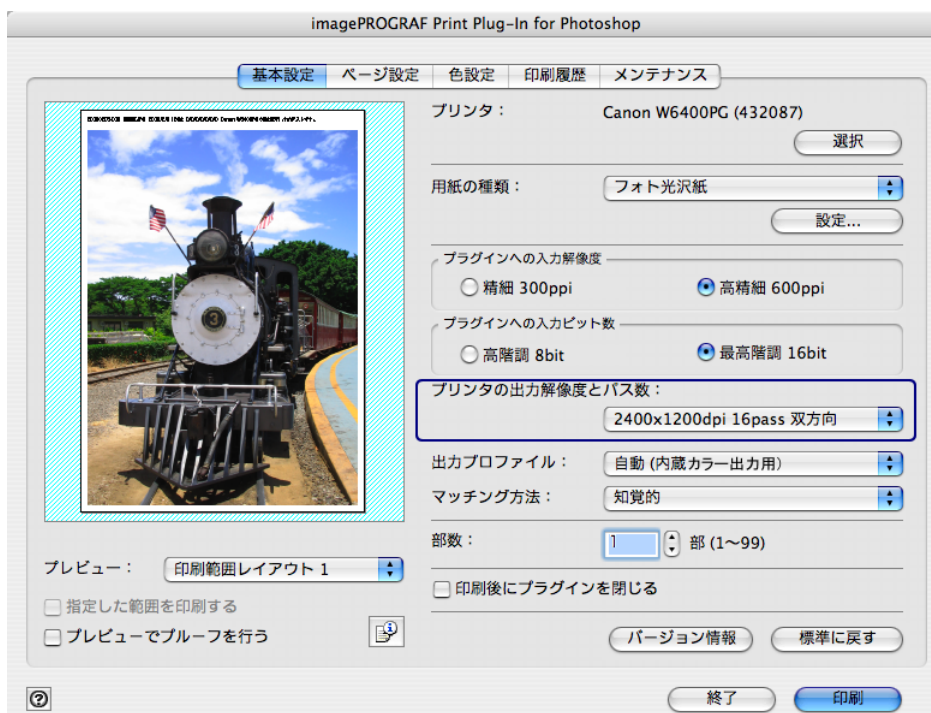
1. ［基本設定］シートを表示します。

2. ［用紙の種類］で、プリンタにセットされている用紙を選択します。

- 選択できる用紙の種類は、プリンタによって異なります。
- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。
- W8400PG、W6400PG では、選択肢に が表示される場合があります。 は、現在選択中のインクの種類が不適切だと判断された用紙を示します。インクの種類を変更するには、「インクの種類を変更するには」(p.2-13)をご覧ください。
- ［用紙の種類］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

3. ［プラグインへの入力解像度］で、画像を処理する解像度として［精細 300ppi］または［高精細 600ppi］のいずれかを選択します。

- ［精細 300ppi］を選択すると、精細な解像度で画像処理を行います。印刷スピードとメモリ容量の抑制に効果があります。
- ［高精細 600ppi］を選択すると、より高精細な解像度で画像処理を行います。最良の印刷結果が得られますが、［精細 300ppi］を選択した場合より印刷に時間がかかります。また、メモリ容量が多く必要になります。
- ［用紙の種類］で選択した内容によっては、［高精細 600ppi］は表示されません。
- ［入力解像度］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

4. ［プラグインへの入力ビット数］で、Print Plug-In で処理するビット数として［高階調 8bit］または［最高階調 16bit］のいずれかを選択します。

- ［高階調 8bit］を選択すると、画像が 8bit ／チャンネル（24 ビット）で画像処理されます。
- ［最高階調 16bit］を選択すると、画像が 16bit ／チャンネル（48 ビット）で画像処理されます。
- ［用紙の種類］または［プラグインへの入力解像度］で選択した内容によっては、［最高階調 16bit］は表示されません。
- ［プラグインへの入力ビット数］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

5. ［プリンタの出力解像度とパス数］で、印刷する解像度とパス数を選択します。

- 選択できる設定は、設定した用紙の種類、プラグインへの入力解像度、プラグインへの入力ビット数によって異なります。
- 出力解像度とは、印刷画像を構成するインクの点の密度のことで、この値が大きいほど、滑らかな仕上がりになります。
- パス数とは、1 ラインの印刷に、プリントヘッドが往復する回数のことで、この値が大きいほど、画像ムラのない均一な仕上がりになります。
- ［プリンタの出力解像度とパス数］で選択した設定は、Print Plug-In 終了後も保存されます。

6. ［印刷］ボタンを押します。

印刷が開始されます。

色を調整して印刷する

希望する色調で画像が印刷されるように調整することができます。

ここでは、Print Plug-In で色を調整する方法として以下の 3 つを紹介します。
「プレビュー表示で確認しながら色を調整する」（p.3-8）
「カラーマッチングで色を調整する」（p.3-12）
「AdobeRGB16bit 画像をきれいに印刷する」（p.3-20）
「高品質なモノクロの写真を印刷する」（p.3-18）※
※：W8400PG、W6400PG に対応

■ プレビュー表示で確認しながら色を調整する

プレビュー表示で調整内容を確認しながら、色を調整することができます。
ここでは、以下の画像調整を例とした手順を説明しています。

- シアン値を［レッドを強く］
- イエロー値を［イエローを強く］
- 鮮やかさを［弱く］
- グレー調整を［暖色］

上記画像調整の適用前と適用後は、以下のとおりです。

適用前

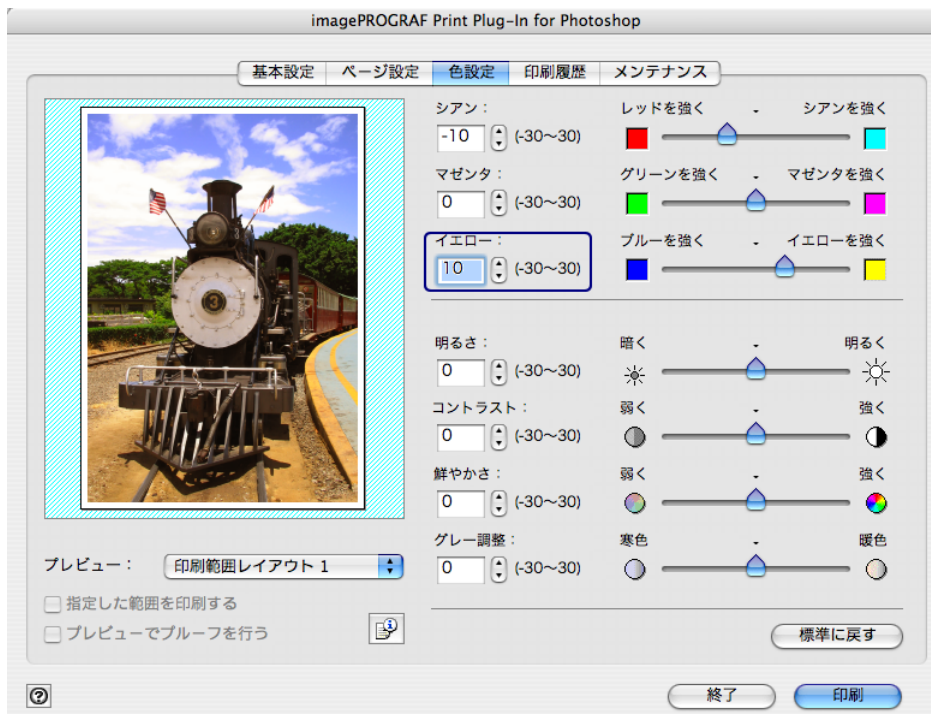
適用後

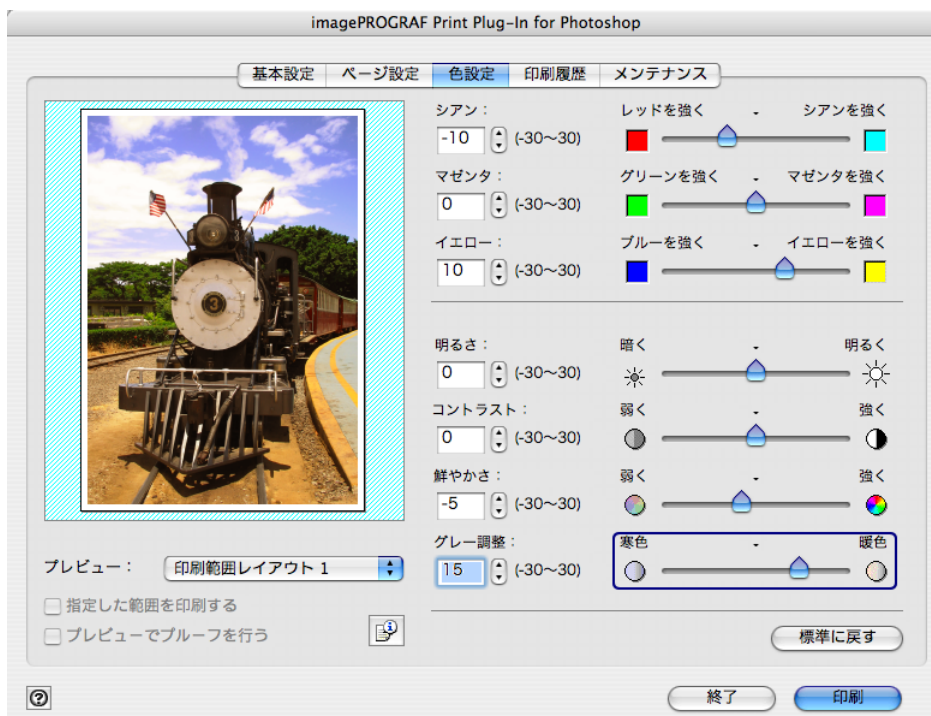
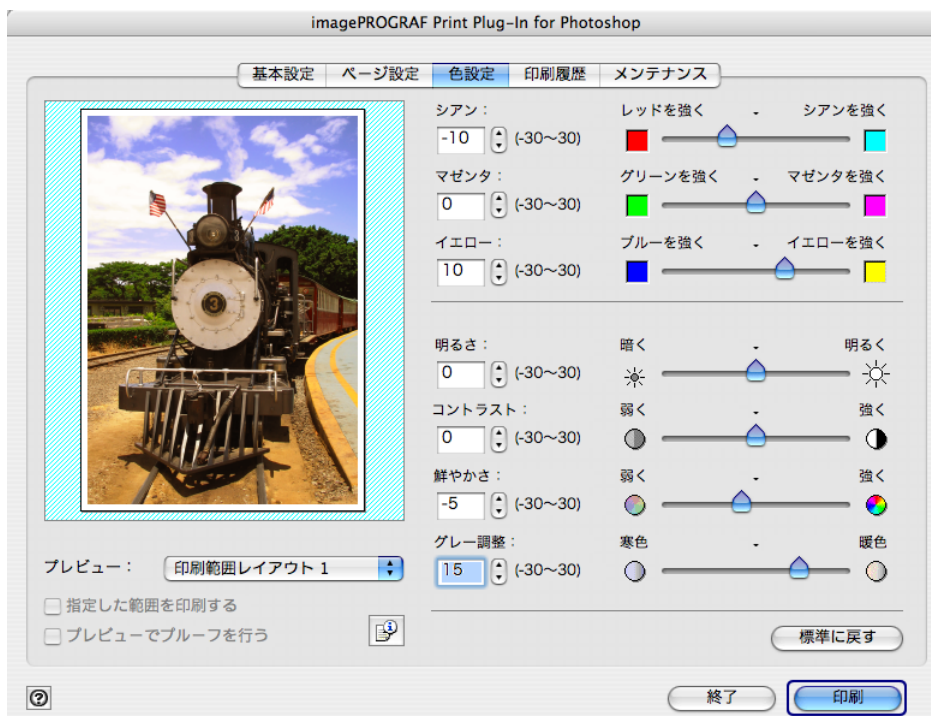
メモ

［色設定］シートで設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

1.［色設定］シートを表示します。

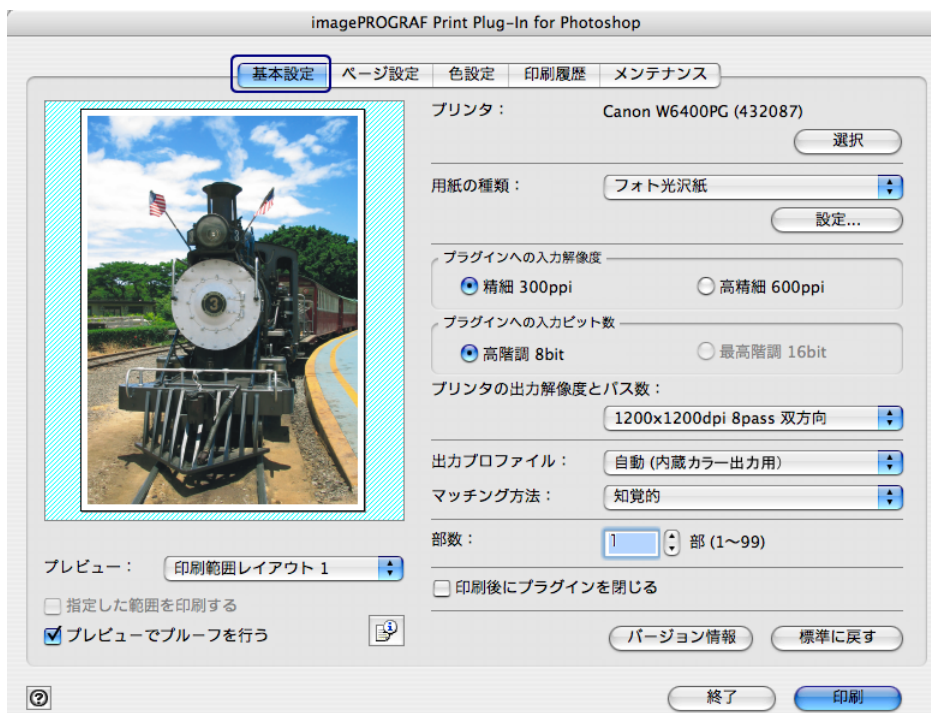
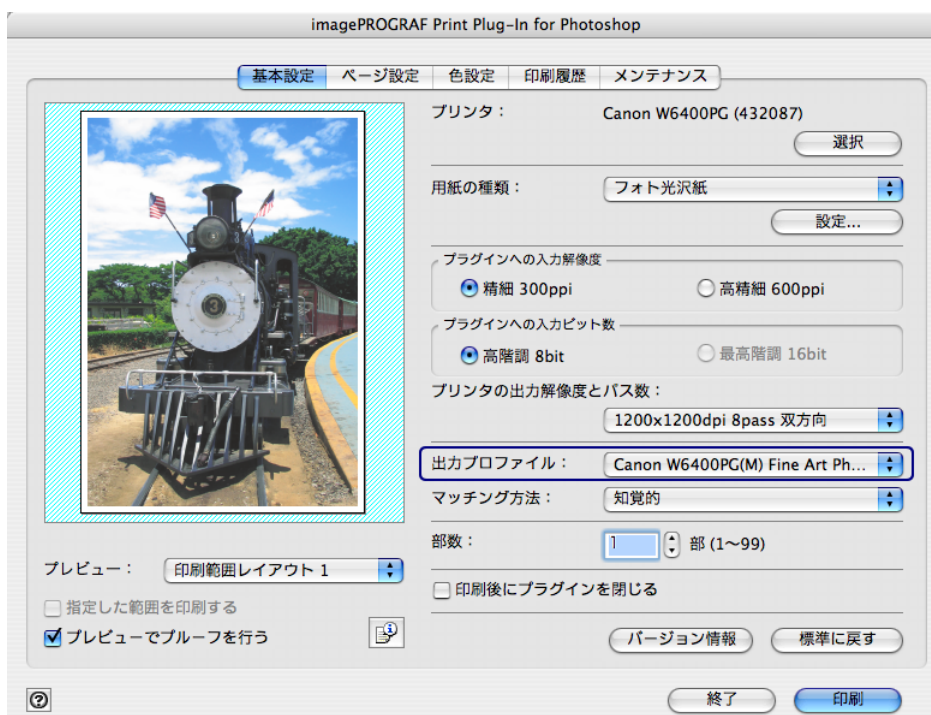
2.［シアン］で、半角数字で「-10」と入力します。

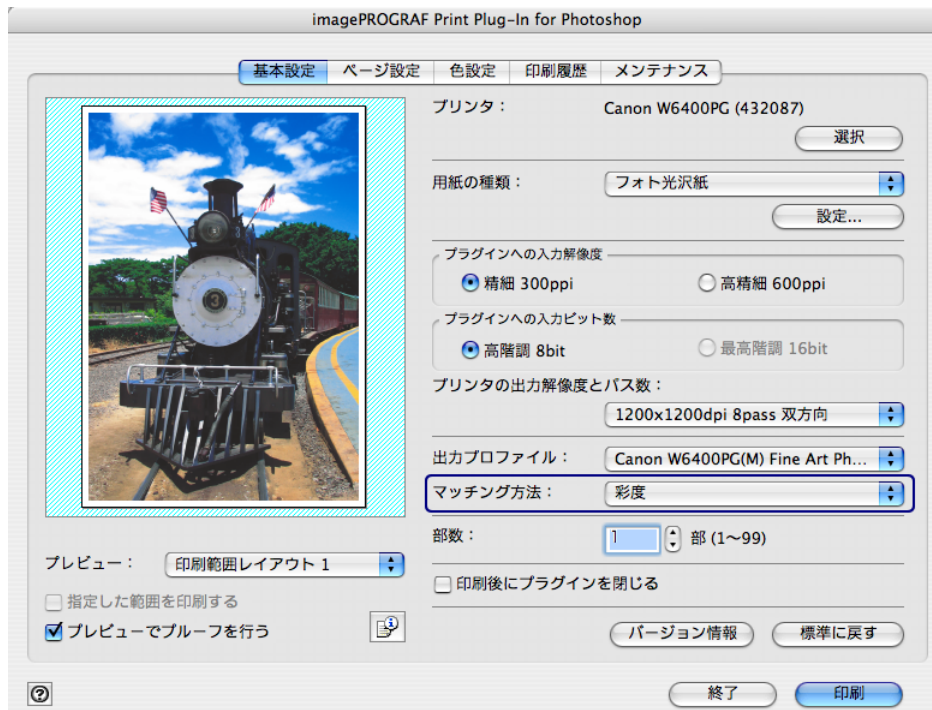
3.［イエロー］で、［▲］ボタンを押して、「10」と入力します。

4.［鮮やかさ］で、スライドバーを［弱く］の方向にドラッグします。

5.［グレー調整］で、スライドバーを［暖色］の方にドラッグします。

6.［印刷］ボタンを押します。

画像調整が適用され、印刷が開始されます。

■ カラーマッチングで色を調整する

スキャナやデジタルカメラなどから取り込んだカラー画像を印刷すると、画面上で見たイメージとは異なることがあります。それは、画面上で表示される色とプリンタが印刷する色に違いがあるためです。Print Plug-In では、メディアや解像度設定などに応じて最適な色変換を行う内蔵プロファイルの他、ICC（International Color Consortium）のカラープロファイルを設定したり、マッチングモードの設定を行うことによって、画面上で表示される色合いとプリンタで印刷した色合いをより近付けることができます。

1. ［基本設定］シートを表示します。

2. ［出力プロファイル］で、プロファイルを選択します。

- 設定できる出力プロファイルは、以下のとおりです。
  自動（内蔵カラー出力用）：　入力画像データの色空間情報（sRGB,AdobeRGB..）や、用紙の設定などから最適な色変換を行います。通常はこの設定を選択してください。
  自動（内蔵モノクロ出力用）：　入力画像データの色空間情報（sRGB,AdobeRGB..）や、用紙の設定等から最適なモノクロへの変換を行います。
  なし（色補正しない）：　プラグインで色変換を行いません。オリジナルの ICC プロファイルを作成する場合に便利です。
  その他の ICC プロファイル：　OS 標準のフォルダに保存されている ICC プロファイルから出力するプリンタの ICC プロファイルを選択します。入力画像の色空間情報と、選択した ICC プロファイルを使用して色変換を行います。
- ［プレビューでプルーフを行う］にチェックマークを付けると、カラーマッチングをプレビュー表示で確認することができます。
  ［用紙の種類］で設定した内容によっては、表示されない場合があります。
- ［出力プロファイル］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されますが、指定したプロファイルが見つからない場合は、［自動（内蔵カラー出力用）］に設定されます。

3. ［マッチング方法］で、プロファイルのマッチング方法を選択します。

- 選択できるマッチング方法は、以下のとおりです。
  知覚的：　自然な色合いや階調に変換されます。写真の色補正に適しています。
  彩度：　色の鮮やかさを重視して変換されます。写真やイラストの色合いが変わることがあります。グラフやチャートなどのビジネス文書の色補正に適しています。
  相対的な色域を維持：　画像の色合いを重視して変換されます。写真やイラストの色補正に適しています。
- ［マッチング方法］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

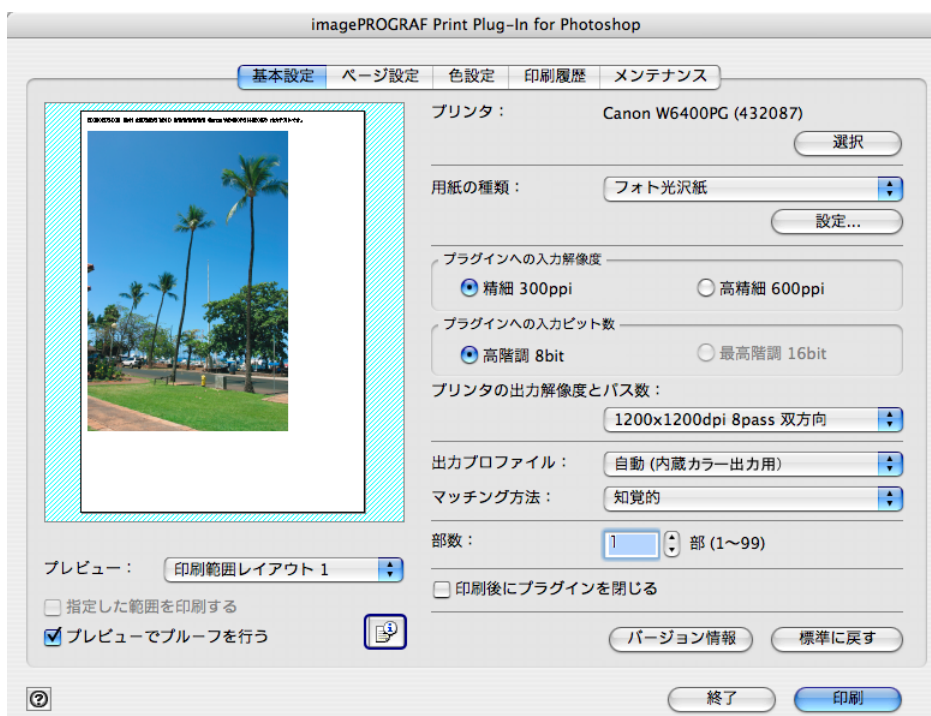
4. ［印刷］ボタンを押します。

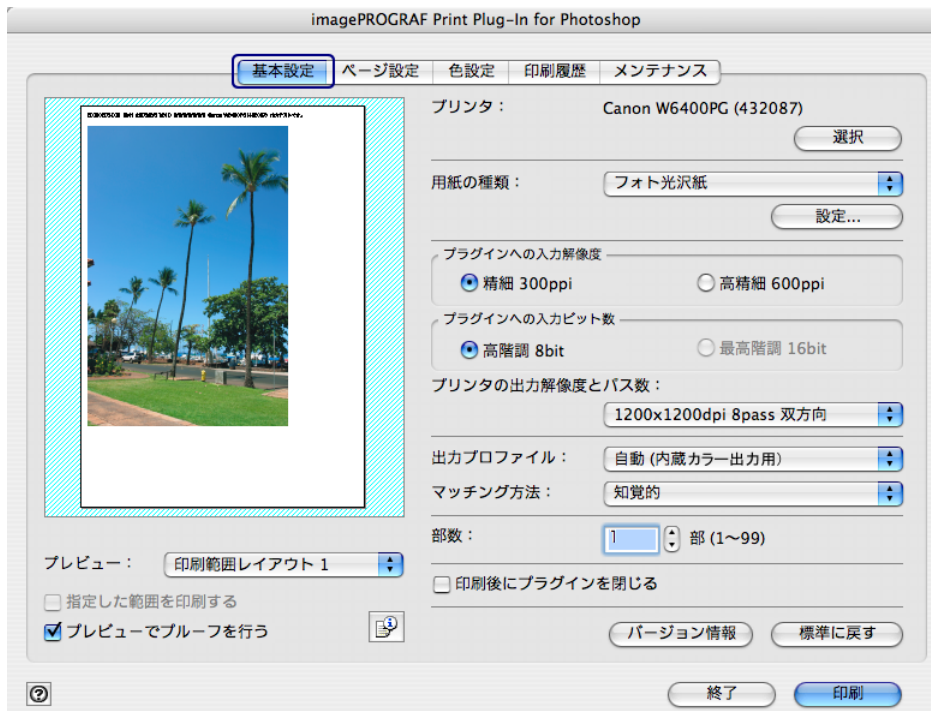
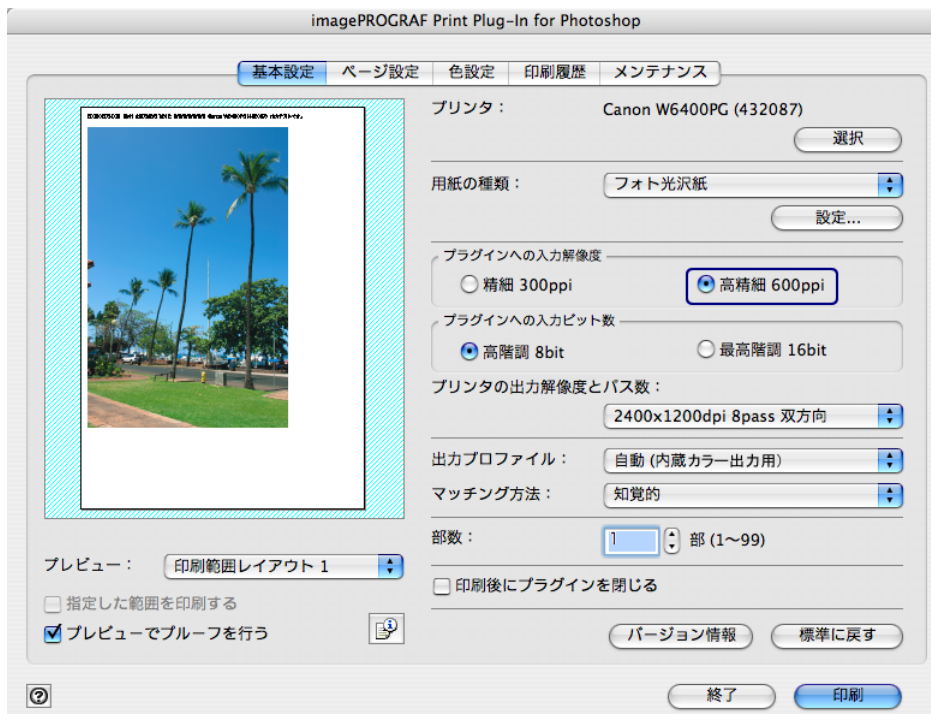
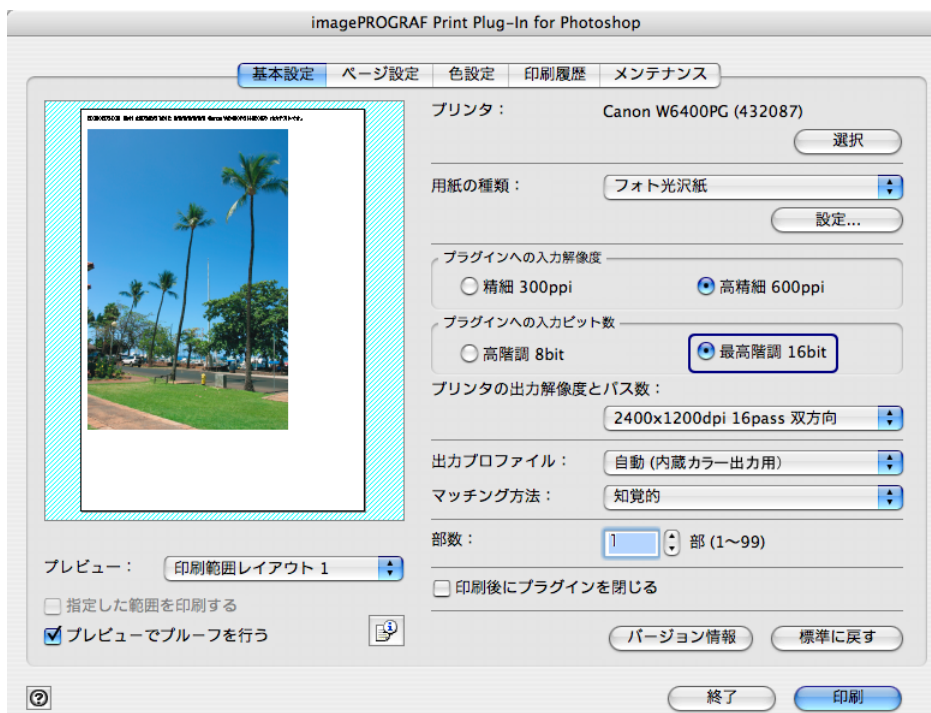
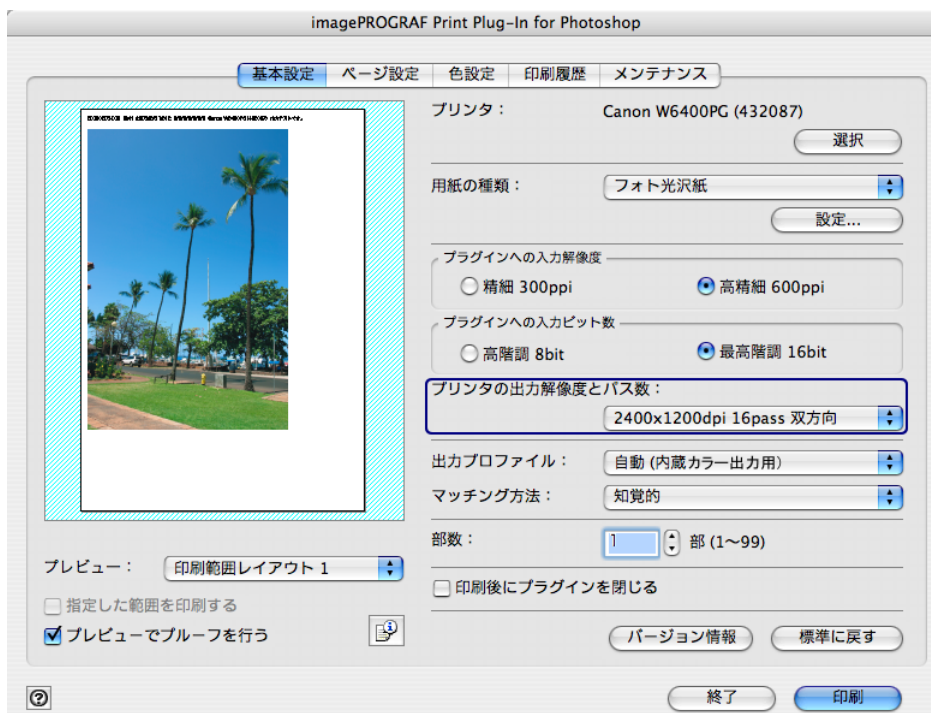
設定した出力プロファイルやマッチング方法で、印刷が開始されます。

■ AdobeRGB16bit 画像をきれいに印刷する

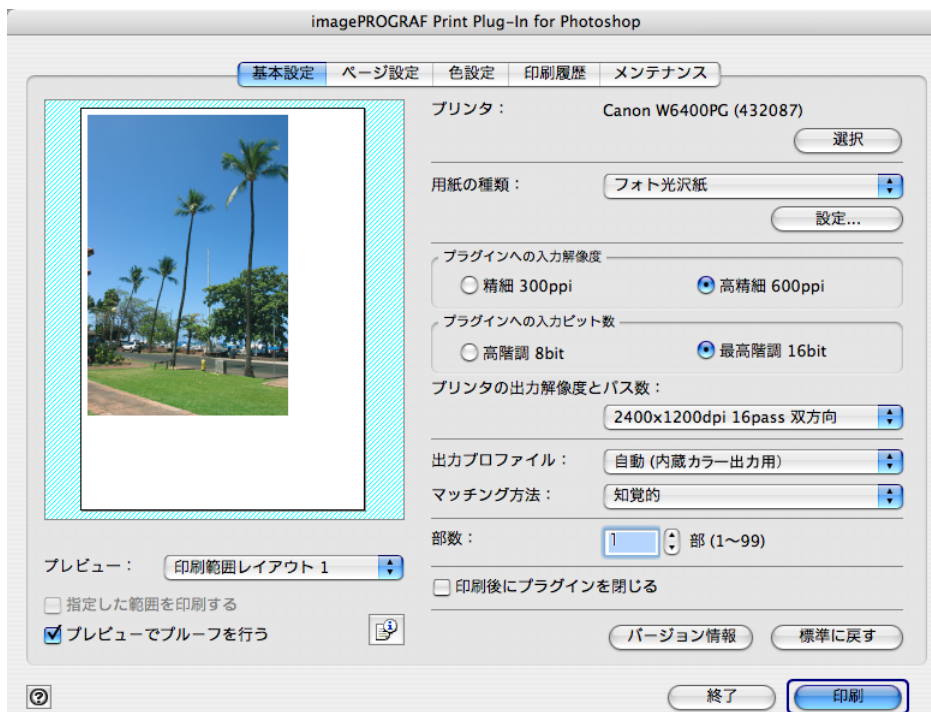
高機能なデジタルカメラで撮影された AdobeRGB16bit の画像を高品位で印刷します。Print Plug-In では、Photoshop でレタッチした AdobeRGB16bit の画像データを広色域・高諧調のまま直接印刷処理するため、画像の階調性を損なうことなく印刷することができます。

1. Photoshop で AdobeRGB16bit の画像データを選択して、Print Plug-In を起動します。

2. を押します。

3. ［画像のプロパティ］ダイアログボックスで、［ビット数］に“16bit/ チャンネル”、［色空間］に“AdobeRGB”と表示されていることを確認して、［閉じる］ボタンを押します。

4. ［基本設定］シートを表示します。

5. ［プラグインへの入力解像度］で、［高精細 600dpi］を選択します。

6. プラグインへの入力ビット数で、［最高階調 16bit］を選択します。

7. ［プリンタの出力解像度とパス数］で、できるだけ大きい値を選択します。

8. 必要があれば、カラーマッチングで色を調整します。

メモ　カラーマッチングの方法については、「カラーマッチングで色を調整する」（p.3-12）をご覧ください。

9. ［印刷］ボタンを押します。

AdobeRGB16bit 画像の印刷が開始されます。

■ 高品質なモノクロの写真を印刷する

スキャナやデジタルカメラなどから取り込んだ画像を、高品質なモノクロで印刷できます。グレーに色がついて見える現象（色転び）を改善したり、光源の影響を小さくしたりすることができます。

1. ［基本設定］シートを表示します。

2. ［出力プロファイル］で、［自動（内蔵モノクロ出力用）］を選択します。

- ［自動（内蔵モノクロ出力用）］は一部の [用紙の種類] を選択した場合にのみ選択できます。
- ［自動（内蔵モノクロ出力用）］を使用するには、imagePROGRAF プリンタドライバのバージョン 2.41 以降をインストールしてください。

3.［印刷］ボタンを押します。

最適なモノクロへの変換が行われ、印刷が開始されます。

拡大／縮小して印刷する

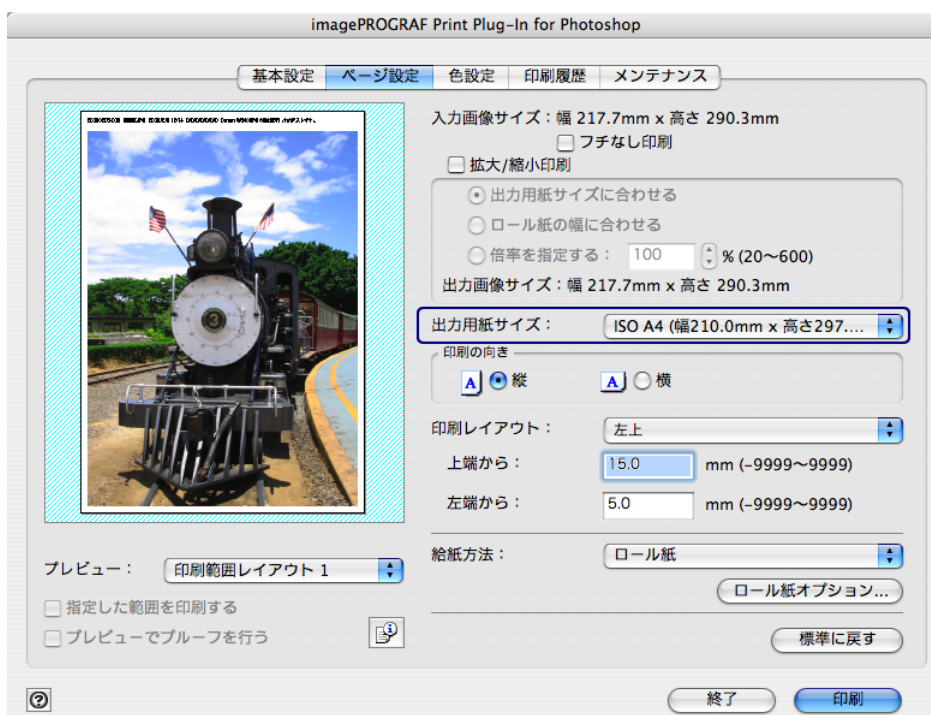
画像の実サイズよりも大きく印刷、または小さく印刷することができます。
拡大／縮小印刷するには、以下の 3 つの方法があります。

「出力用紙サイズに合わせて拡大／縮小印刷する」（p.3-20）
「ロール紙の幅に合わせて拡大／縮小印刷する」（p.3-23）**W8400PG、W6400PG に対応**
「倍率を指定して拡大／縮小印刷する」（p.3-27）

■ 出力用紙サイズに合わせて拡大／縮小印刷する

プリンタにセットされている用紙を指定することで、用紙の印刷領域に合わせて画像を拡大／縮小して印刷することができます。
指定した出力用紙いっぱいに画像を印刷したいときに使用すると便利です。

ロール紙の幅いっぱいに印刷したい場合は、「ロール紙の幅に合わせて拡大／縮小印刷する」（p.3-23）をご覧ください。ロール紙への印刷に対して以下の手順を行うと、［出力用紙サイズ］で設定した出力用紙サイズに合わせて印刷されます。

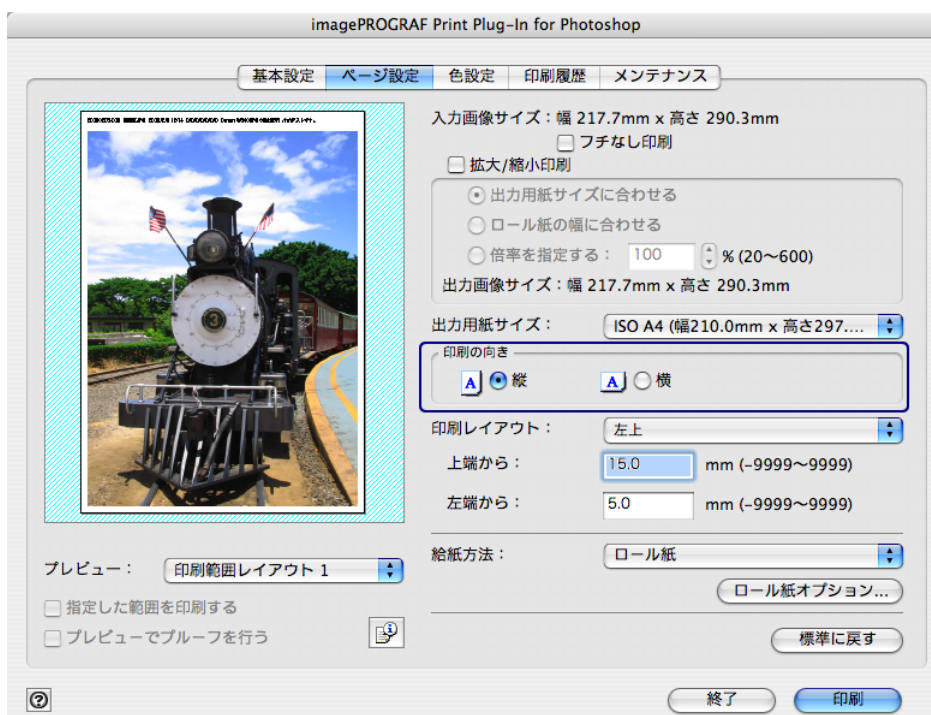
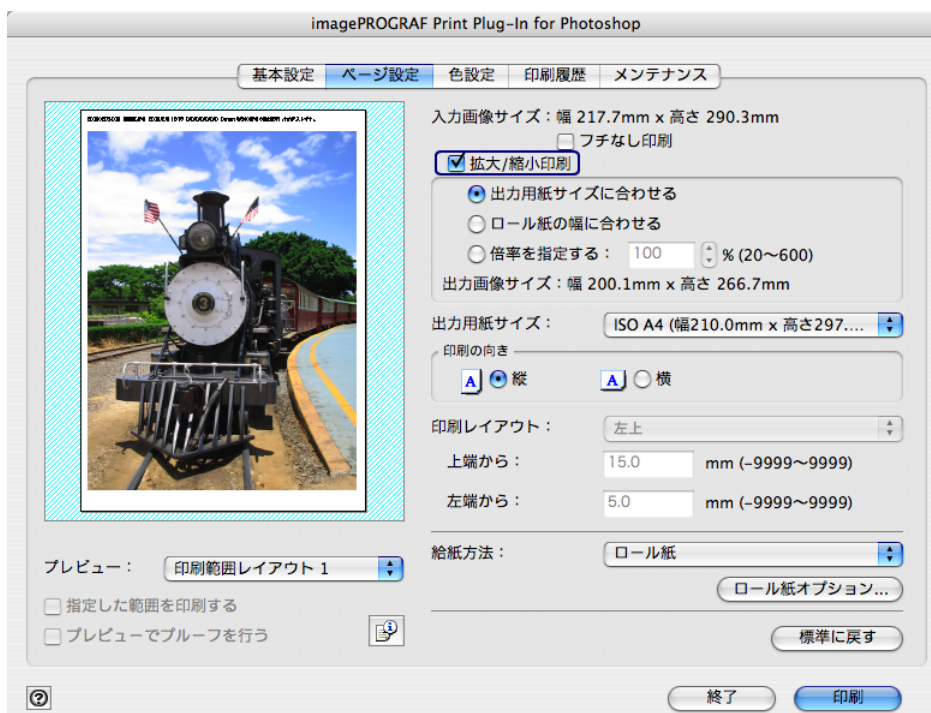
1. ［ページ設定］シートを表示します。

2. ［出力用紙サイズ］で、出力したい用紙のサイズを選択します。

- 選択できる出力用紙サイズは、プリンタによって異なります。
- ［フチなし印刷］にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
- ［拡大 / 縮小印刷］の［ロール紙の幅に合わせる］が設定されている場合は、表示されません。
- ［出力用紙サイズ］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

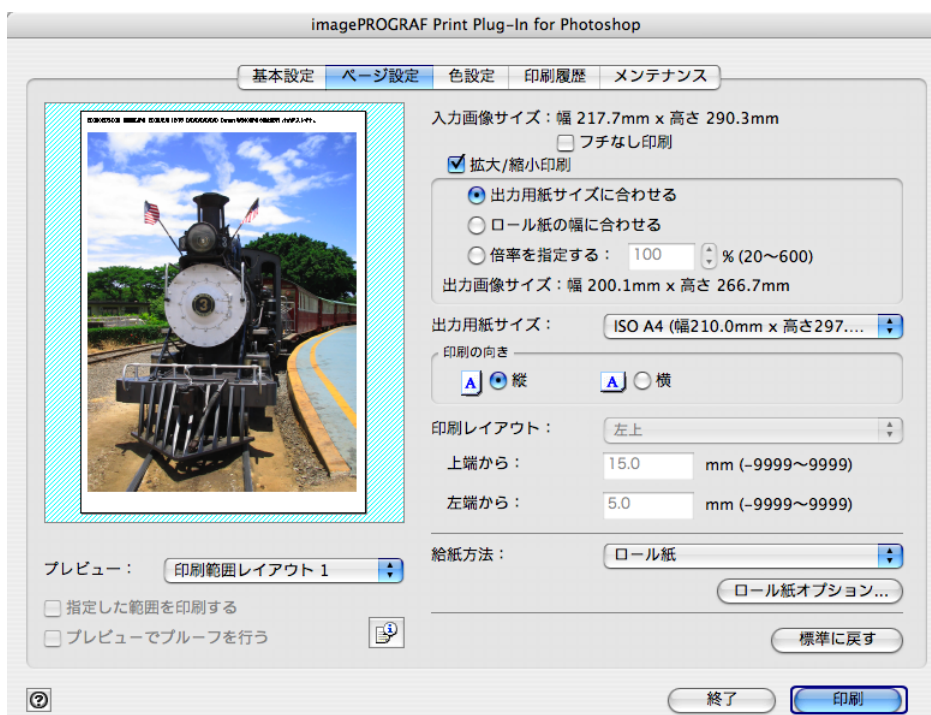
3. ［印刷の向き］で、画像に対する用紙の向きとして［縦］または［横］のいずれかを選択します。

- ［縦］を選択すると、画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
- ［横］を選択すると、画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

4. ［拡大 / 縮小印刷］にチェックマークを付けます。

メモ

［フチなし印刷］にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

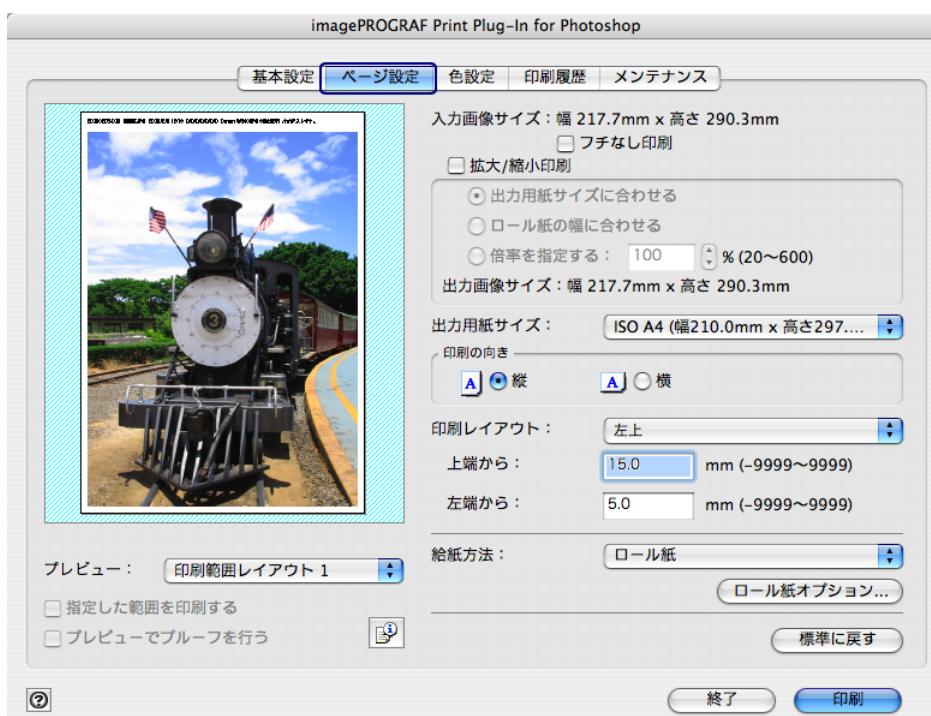
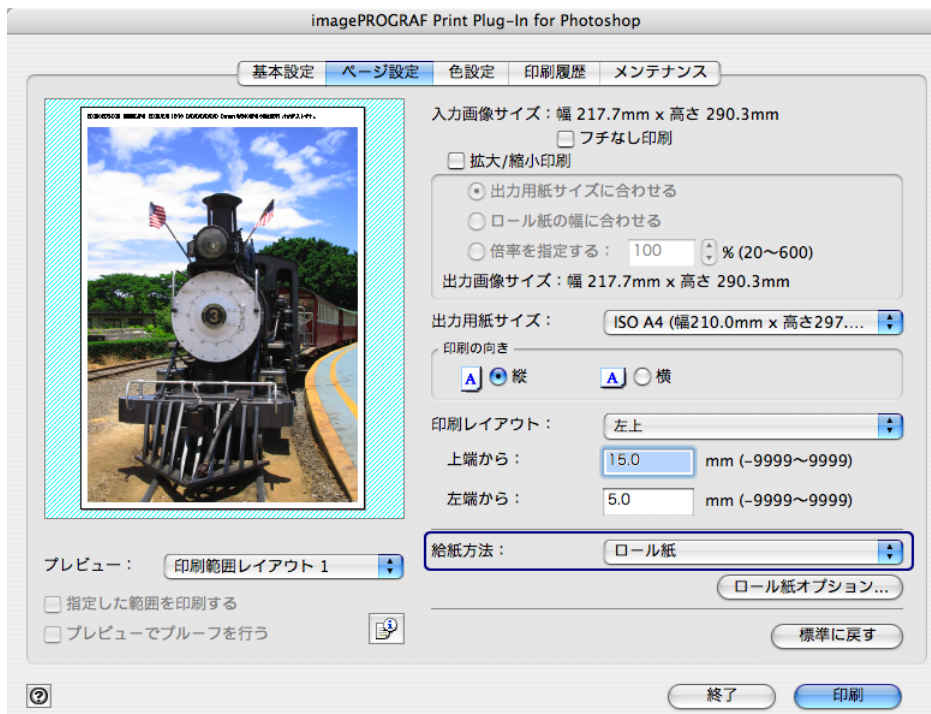
5. ［出力用紙サイズに合わせる］を選択します。

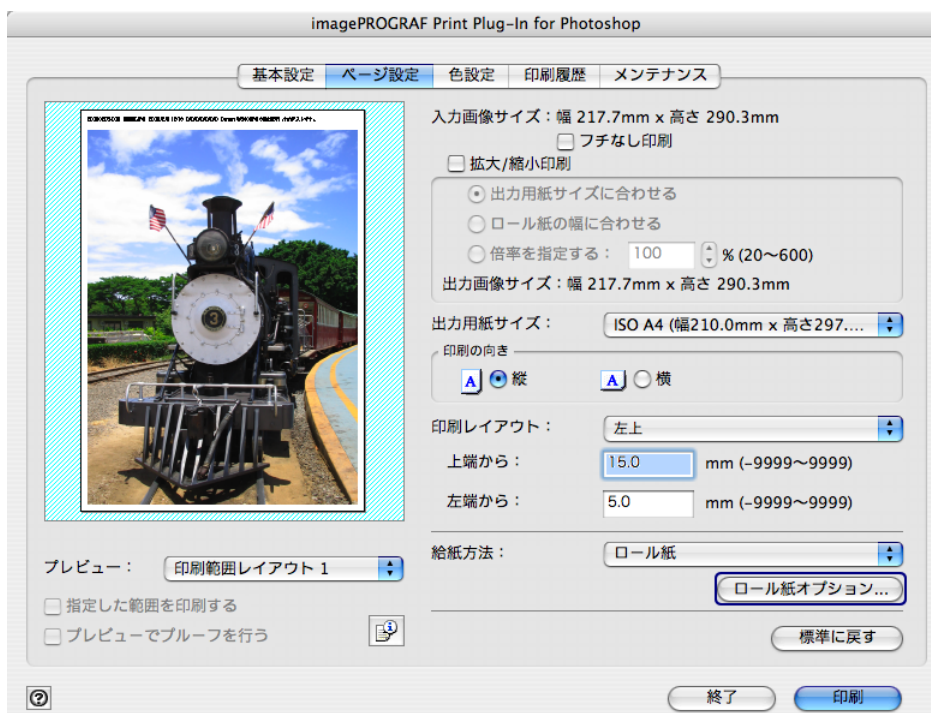
6.［印刷］ボタンを押します。

画像が出力用紙サイズいっぱいになるように印刷されます。

■ ロール紙の幅に合わせて拡大／縮小印刷する

W8400PG、W6400PG で、プリンタにセットされているロール紙の幅に合わせて画像を拡大／縮小して印刷することができます。
ロール紙幅いっぱいに画像を印刷したいときに使用すると便利です。

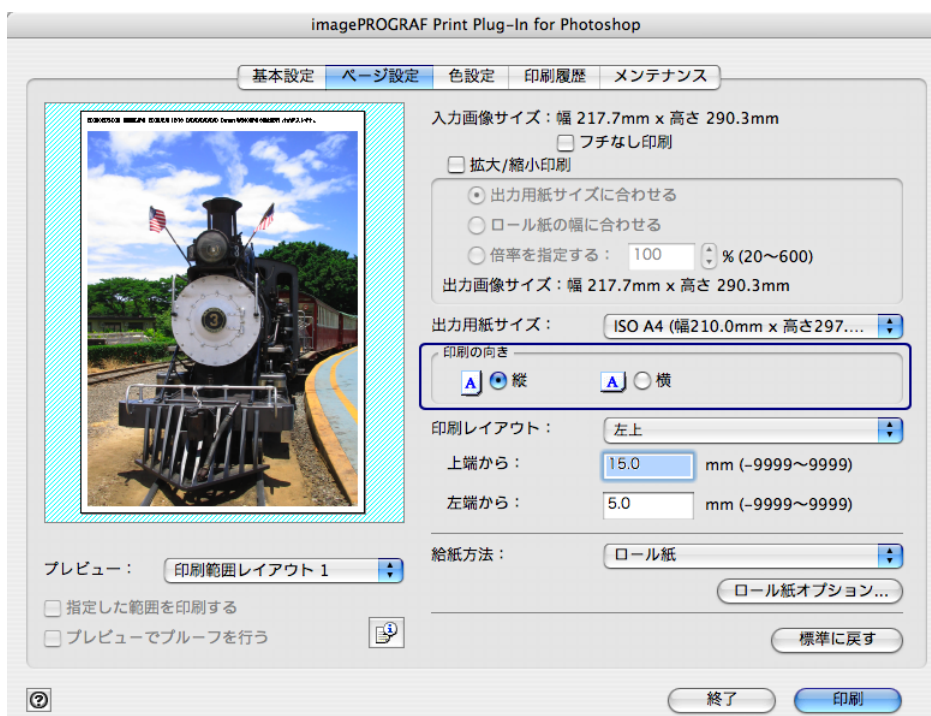
プリンタにロール紙がセットされていない場合は、正しく印刷されません。

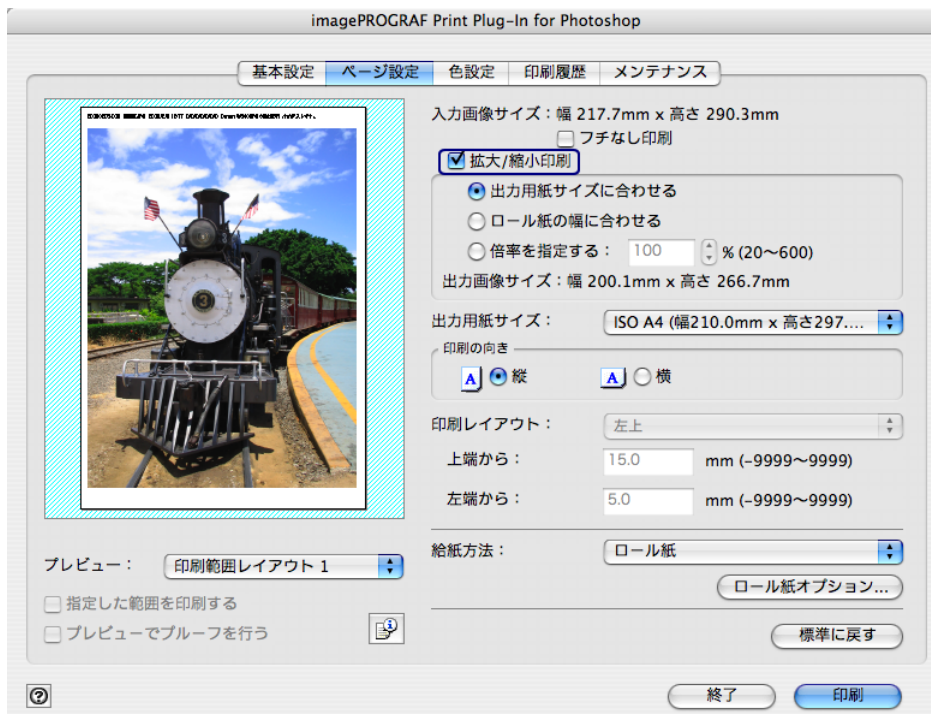
1.［ページ設定］シートを表示します。

2.［給紙方法］で、［ロール紙］を選択します。

メモ　［給紙方法］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

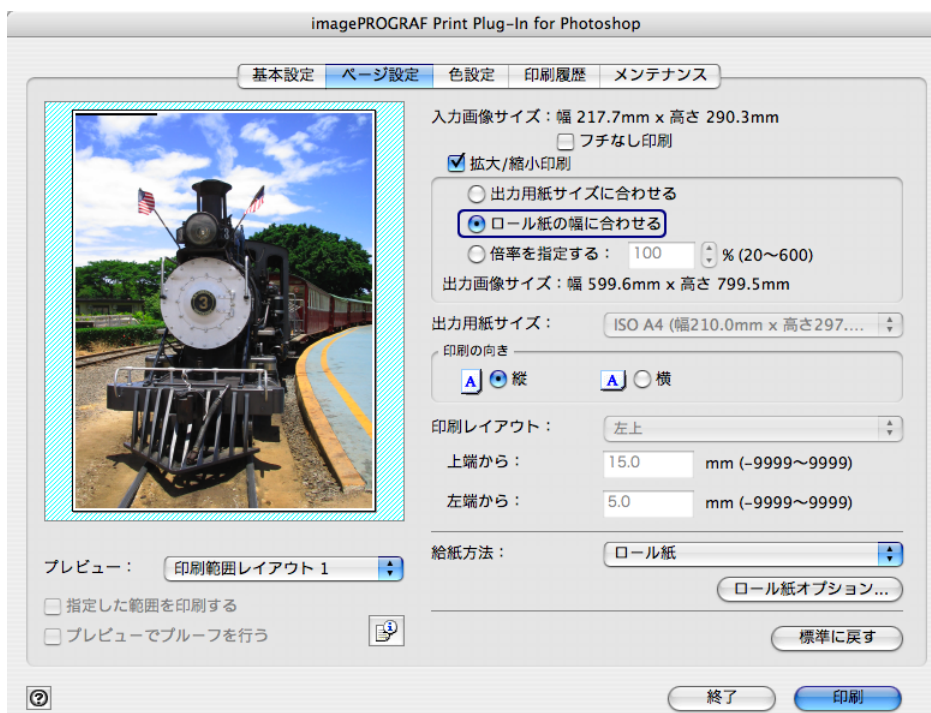
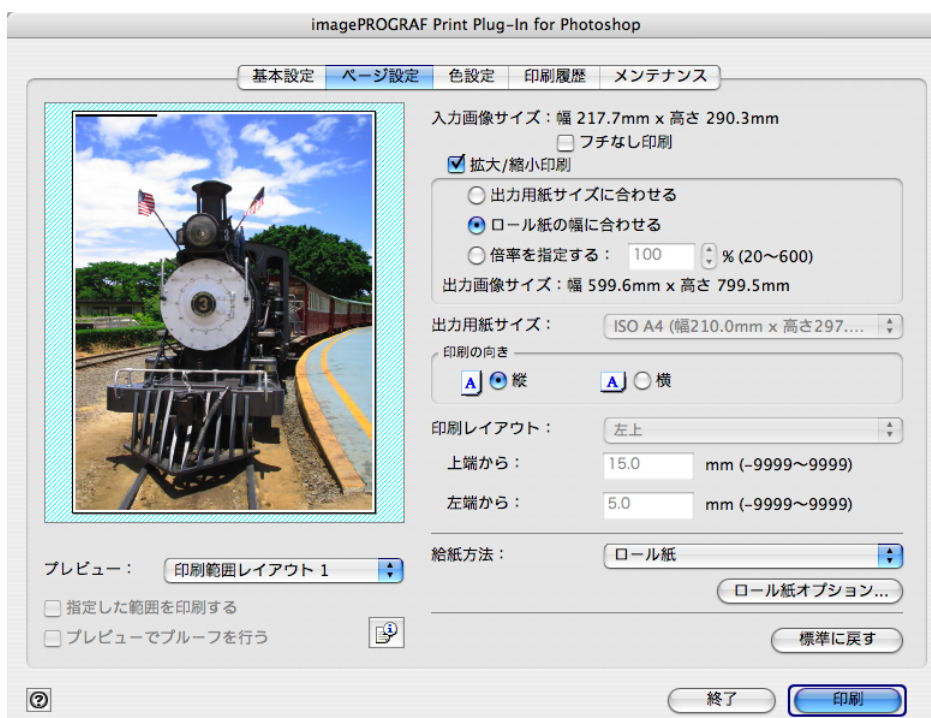
3.［ロール紙オプション］ボタンを押します。

4. ロール紙のオプションを設定して、[OK] ボタンを押します。

設定項目	内容
ロール紙幅	プリンタにセットされたロール紙の幅を選択します。
オートカット	オートカットの有無として［あり］、［なし］、［カットラインを印刷］のいずれかを選択します。
上下余白なし（用紙節約）	チェックマークを付けると、画像の上下の余白を取らずに印刷することができます。

- ［ロール紙オプション］ダイアログボックスについては、「[ロール紙オプション］ダイアログボックス」(p.2-10) をご覧ください。
- ［標準に戻す］ボタンを押すと、ロール紙オプションの設定が初期値に戻ります。

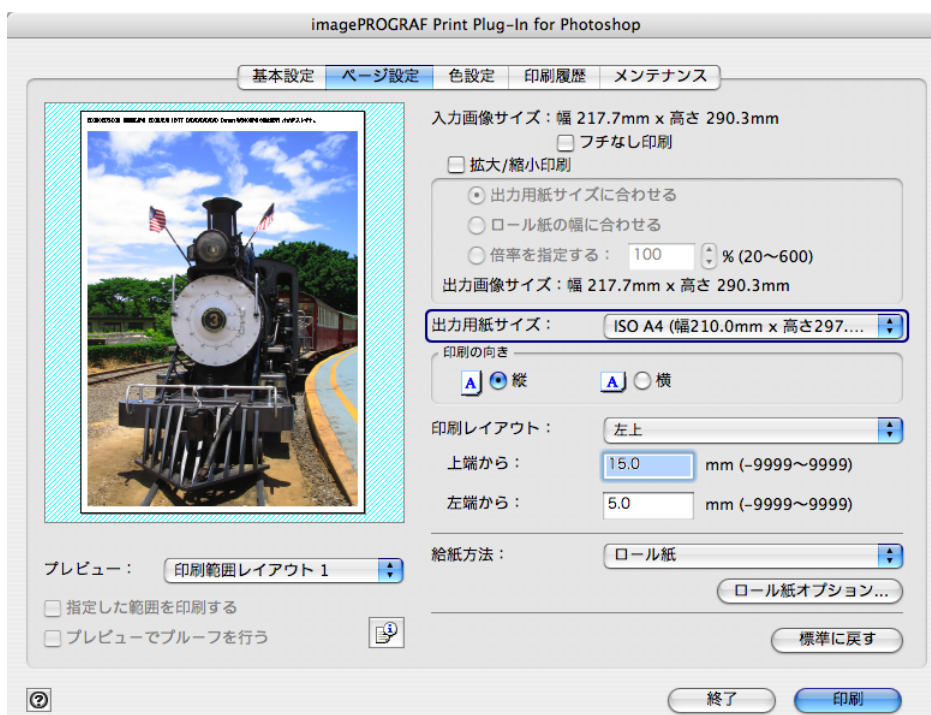
5. ［印刷の向き］で、画像に対する用紙の向きとして［縦］または［横］のいずれかを選択します。

- ［縦］を選択すると、画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
- ［横］を選択すると、画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

6. ［拡大 / 縮小印刷］にチェックマークを付けます。

メモ　［フチなし印刷］にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

7. ［ロール紙の幅に合わせる］を選択します。

8. ［印刷］ボタンを押します。

画像がロール紙幅いっぱいになるように印刷されます。

■ 倍率を指定して拡大／縮小印刷する

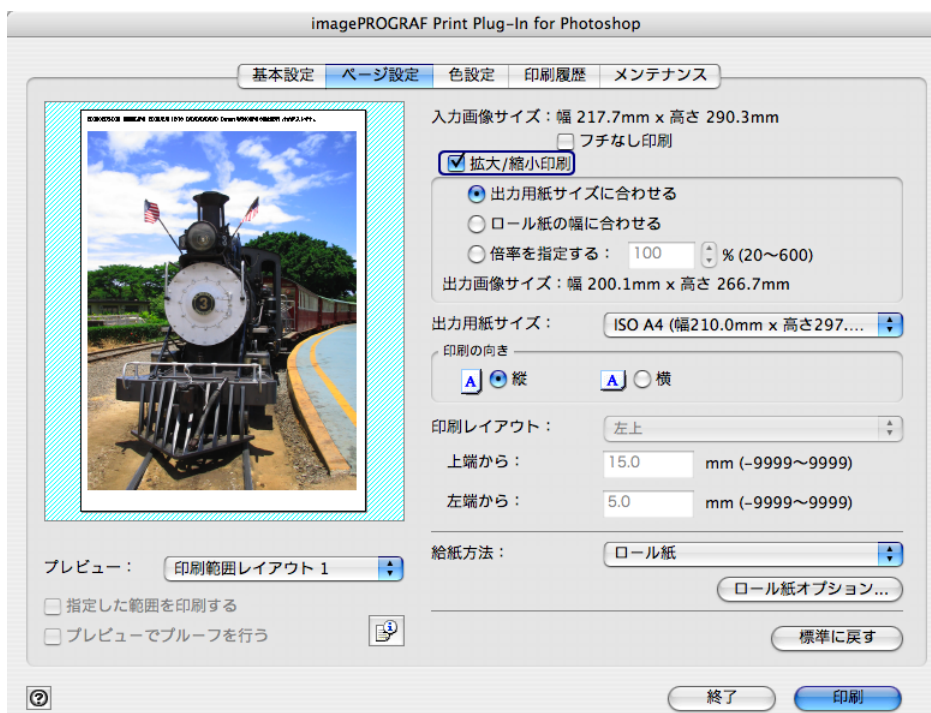
画像を拡大／縮小するための倍率を指定して、印刷することができます。
お好みの大きさで画像を印刷したいときに使用すると便利です。

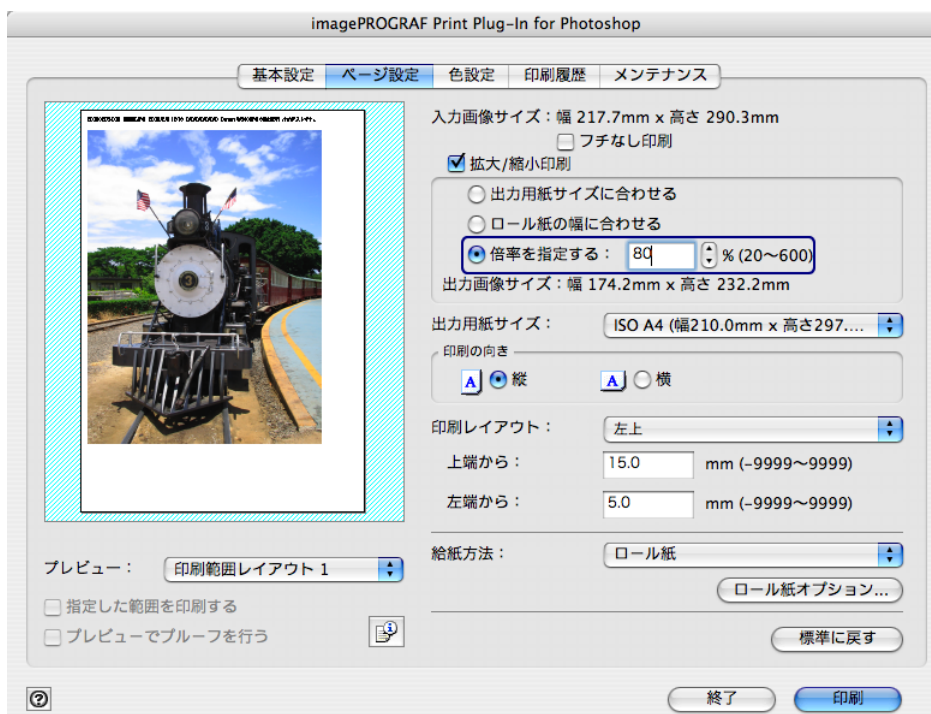
1. ［ページ設定］シートを表示します。

2. ［出力用紙サイズ］で、出力したい用紙のサイズを選択します。

- 選択できる出力用紙サイズは、プリンタによって異なります。
- ［フチなし印刷］にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
- ［拡大 / 縮小印刷］の［ロール紙の幅に合わせる］が設定されている場合は、表示されません。
- ［出力用紙サイズ］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

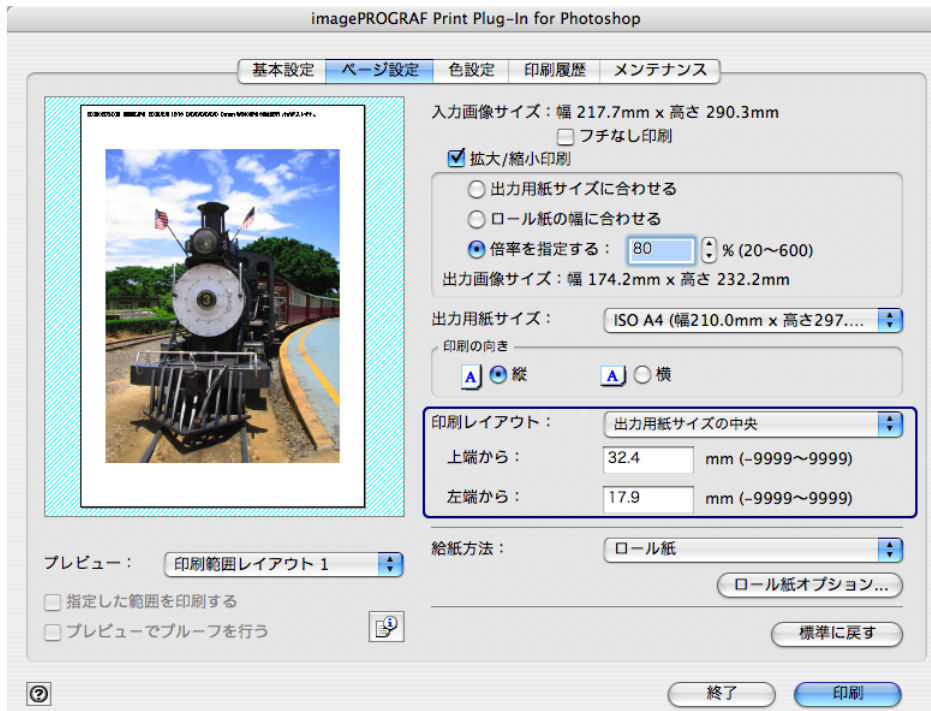
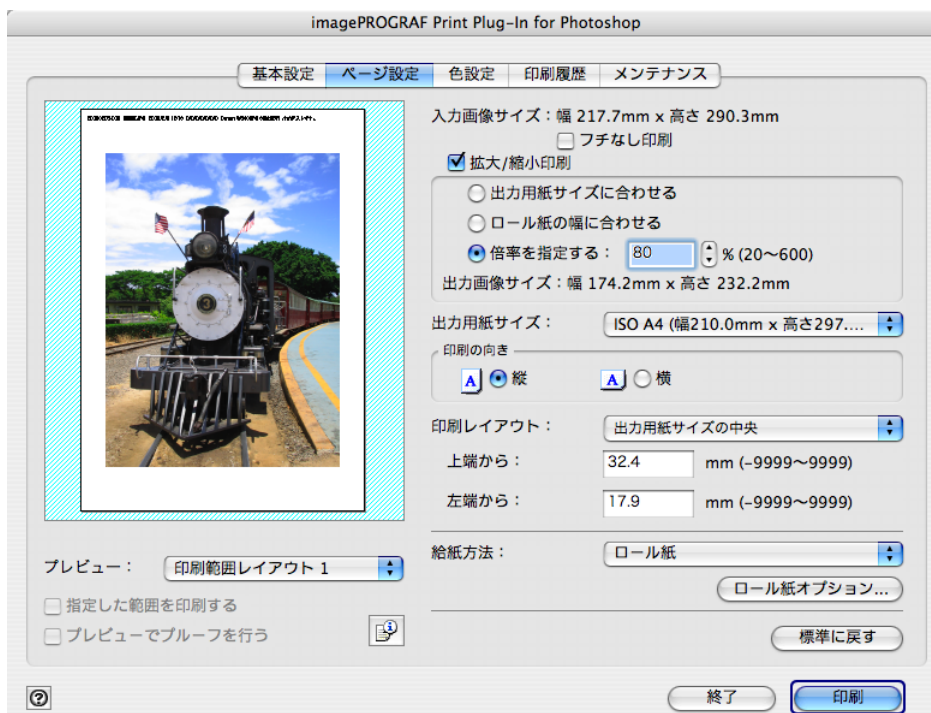
3. ［印刷の向き］で、画像に対する用紙の向きとして［縦］または［横］のいずれかを選択します。

- ［縦］を選択すると、画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
- ［横］を選択すると、画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

4. ［拡大 / 縮小印刷］にチェックマークを付けます。

メモ　［フチなし印刷］にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

5. ［倍率を指定する］を選択して、半角数字で倍率を入力します。

メモ

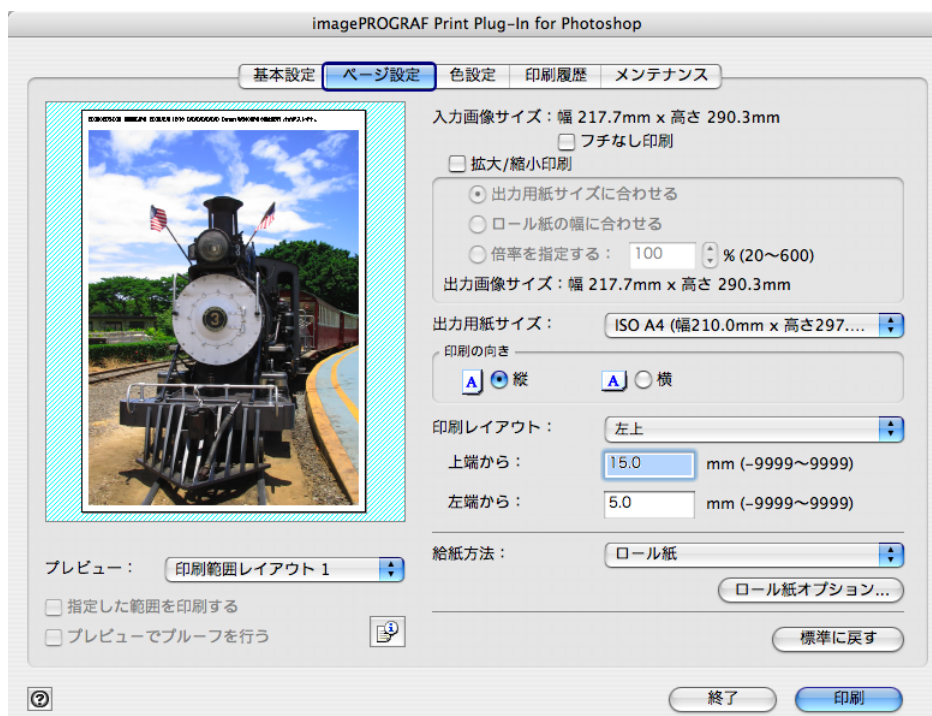
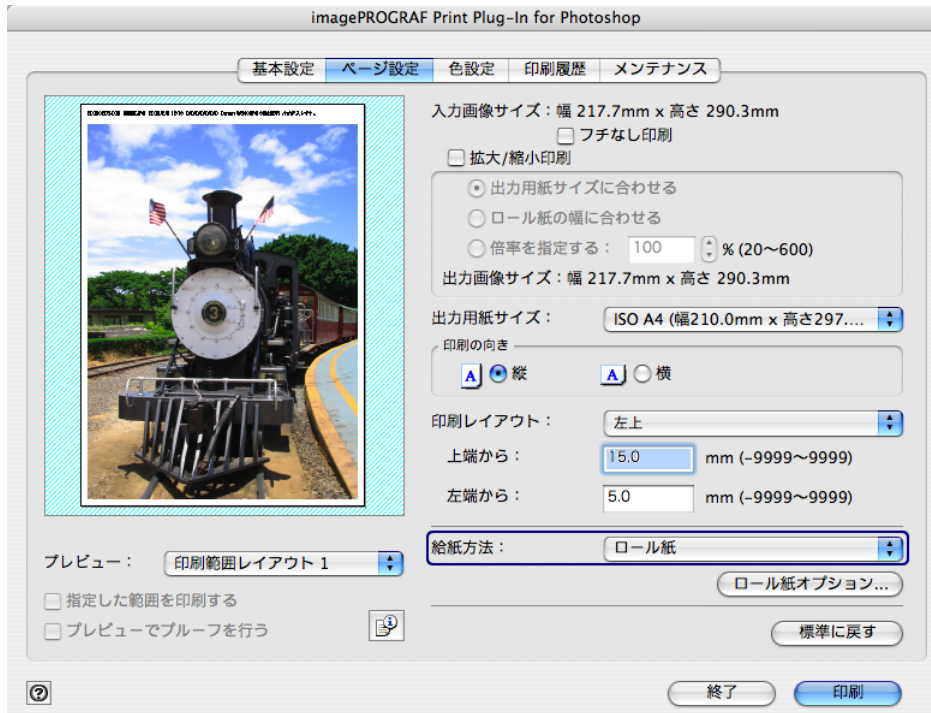
- ［倍率の単位は%で、1% 単位で指定することができます。
- 倍率は、20 ～ 600% の範囲で、指定することができます。
- 縦横のサイズは等倍率で拡大／縮小されます。

6. ［印刷範囲レイアウト 1］または［印刷範囲レイアウト 2］のプレビュー表示で画像をドラッグするか、［印刷レイアウト］で印刷位置を設定します。

7. ［印刷］ボタンを押します。

設定した倍率で印刷が開始されます。

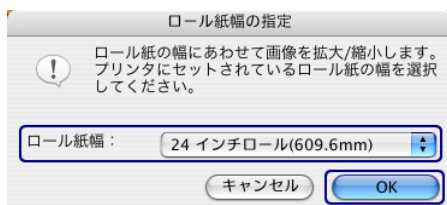
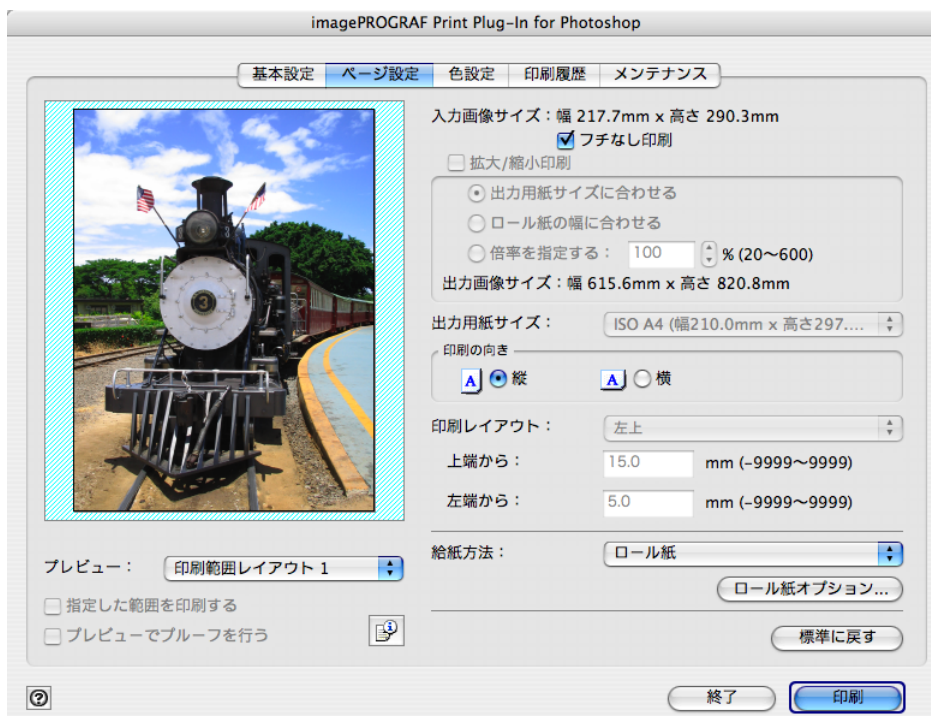
フチなしで印刷する

W8400PG、W6400PG では、フチなし印刷機能を使用して、画像の周囲に余白を取らずに印刷することができます。

- 用紙の種類によっては、2 辺のみのフチなしで印刷されます。
- フチなし印刷機能を使用するには、プリンタに専用の用紙がセットされている必要があります。用紙の種類について詳しくは、ご使用のプリンタのマニュアルをご覧ください。

1. ［ページ設定］シートを表示します。

2. ［給紙方法］で、［ロール紙］を選択します。

メモ　［給紙方法］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

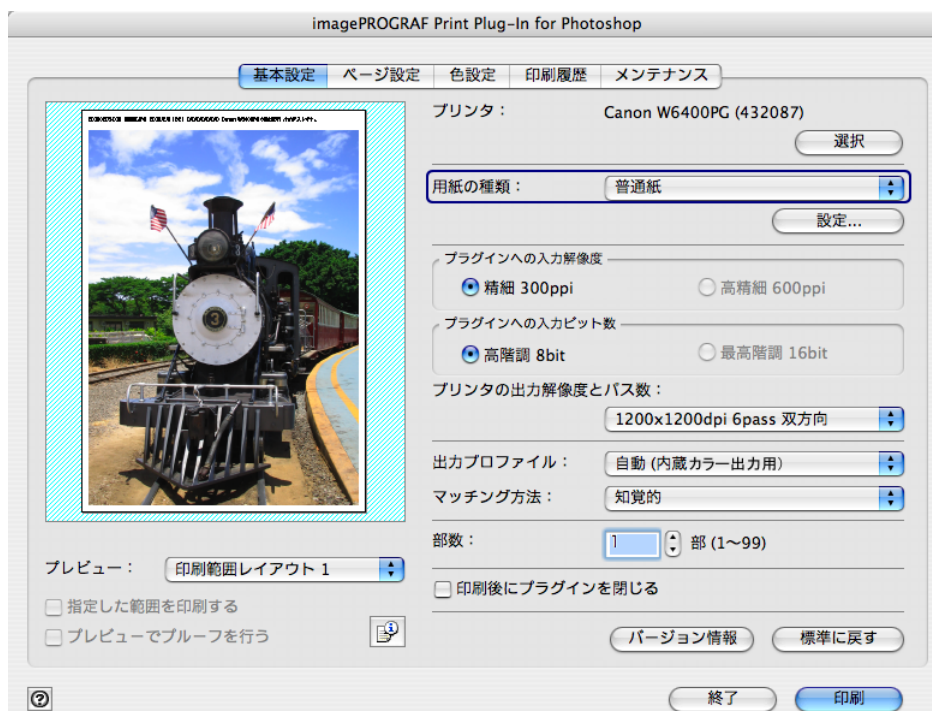
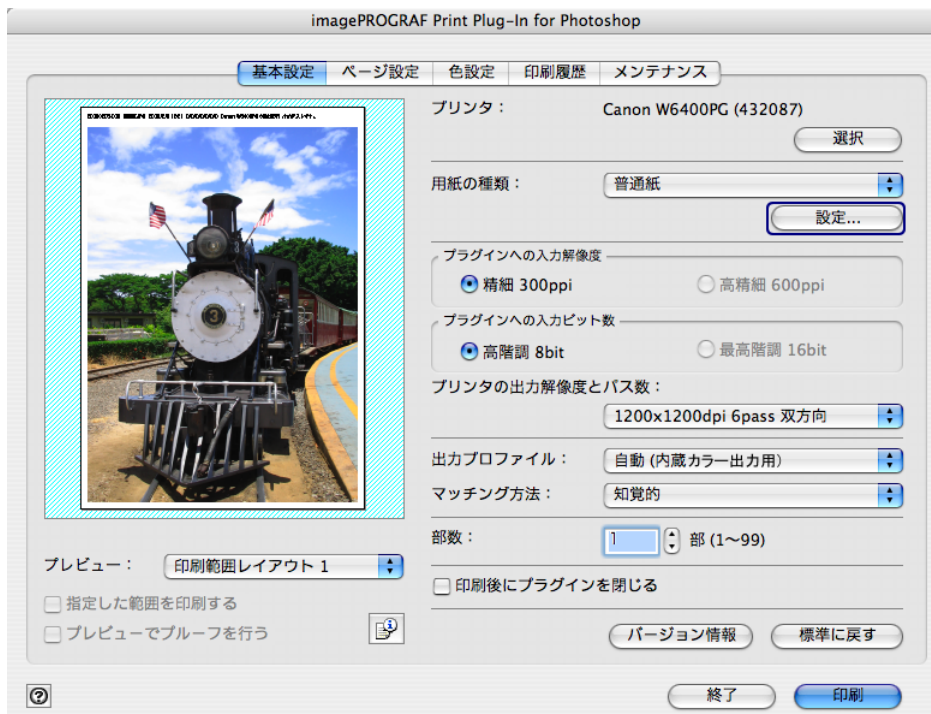
3. ［フチなし印刷］を選択します。

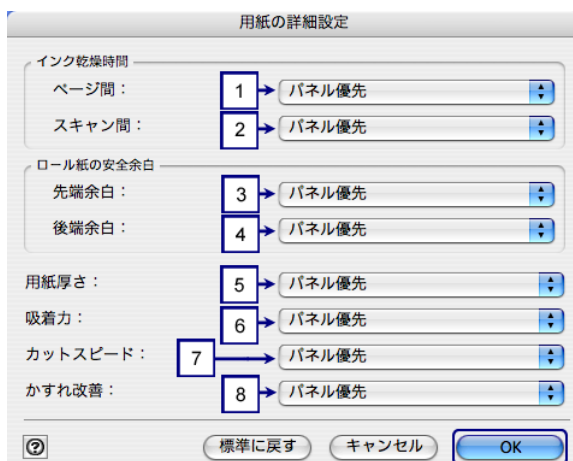
4. ［ロール紙幅の指定］ダイアログボックスの［ロール紙幅］で、プリンタにセットされているロール紙の幅を選択して、［OK］ボタンを押します。

5. ［印刷］ボタンを押します。

フチなしの設定で印刷が開始されます。

用紙の設定をカスタマイズする

W8400PG、W6400PG では、用紙の設定をカスタマイズすることができます。

1. ［基本設定］シートを表示します。

2. ［用紙の種類］で、カスタマイズしたい用紙の種類を選択します。

- 選択できる用紙の種類は、プリンタによって異なります。
- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。
- W8400PG、W6400PG では、選択肢に ! が表示される場合があります。! は、現在選択中のインクの種類が不適切だと判断された用紙を示します。インクの種類を変更するには、「インクの種類を変更するには」（p.2-13）をご覧ください。
- ［用紙の種類］で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されます。

3. ［設定］ボタンを押します。

4. ［用紙の詳細設定］ダイアログボックスで、各種設定を行い、［OK］ボタンを押します。

1　インク乾燥時間　ページ間

インク乾燥のため、次の用紙を排紙するまでの待ち時間を選択します。

設定項目	内容
パネル優先	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
なし	印刷終了後、すぐに排紙されます。
30 秒、1 分、3 分、5 分、10 分、30 分、60 分	印刷終了後、設定した時間が経過してから排紙されます。

2　インク乾燥時間　スキャン間

1 ラインを印刷後、次のラインを印刷するまでの待ち時間を選択します。

設定項目	内容
パネル優先	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
なし	1 ライン印刷後、すぐに次のラインが印刷されます。
1 秒、3 秒、5 秒、7 秒、9 秒	1 ライン印刷後、設定した時間が経過してから次のラインが印刷されます。 • ページ内でにじみが発生したときや、フチなし印刷時に色ムラが発生したときには時間を増やしてください。

3　ロール紙の安全余白　先端余白

ロール紙の先端余白の長さを選択します。

設定項目	内容
パネル優先	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
5mm	定型サイズで印刷されます。 • 印刷に特に問題がないときに選択してください。
20mm	用紙サイズが定型よりも紙送り方向に 15mm 大きく印刷されます。 • カールの強い用紙を使用した場合など、プリントヘッドのこすれが発生する場合に選択してください。

4　ロール紙の安全余白　後端余白

ロール紙の後端余白の長さを選択します。

設定項目	内容
パネル優先	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
5mm	定型サイズで印刷されます。 • 印刷に特に問題がないときに選択してください。
10mm	用紙サイズが定型よりも 5mm 紙送り方向に大きくなります。 • 用紙の後端いっぱいまで画像を印刷する場合など、乾く前のインクがカッターに付着して、カッターが印刷画像を汚してしまうときに選択します。

5　用紙厚さ

用紙の厚さ設定を選択します。

設定項目	内容
パネル優先	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
標準	プリンタに標準的な用紙をセットした場合や、印刷に特に問題がない場合に選択します。
厚い	プリンタに厚い用紙をセットした場合に選択します。
薄い	プリンタに薄い用紙をセットした場合に選択します。

6　吸着力

用紙に合わせた吸着力設定を選択します。

設定項目	内容
パネル優先	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
強い	強い力で用紙が吸着されます。 • 用紙が吸着されない場合に選択します。
やや強い	やや強い力で用紙が吸着されます。 • 用紙が吸着されにくい場合に選択します。
標準	通常の力で用紙が吸着されます。 • 印刷に特に問題がない場合に選択します。
弱い	弱い力で用紙が吸着されます。 • 用紙がつまったり、複数の用紙が吸着される場合に選択します。

7　カットスピード

オートカットのスピード設定を選択します

設定項目	内容
パネル優先	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
標準	通常のスピードでオートカットが行われます。 • 印刷に特に問題がない場合に選択します。
高速	高速でオートカットが行われます。 • 切断面がきれいでない場合に選択します。

8　かすれ改善

かすれ改善機能を適用するかどうかを選択します。

設定項目	内容
パネル優先	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
オフ	かすれ改善機能が適用されません。
オン	かすれ改善機能が適用されます。 • 画像の黄色い部分や全体が、かすれていたり、画像の色合いが異なる場合に選択します。

印刷履歴を活用する

Print Plug-In では各種設定を行って印刷すると、印刷履歴として各種設定が保存されます。印刷履歴を他の画像に適用したり、ファイルとして書き出したり、読み込んだりすることができます。よく使用する印刷履歴は、お気に入りとして名前を付けて登録することもできます。

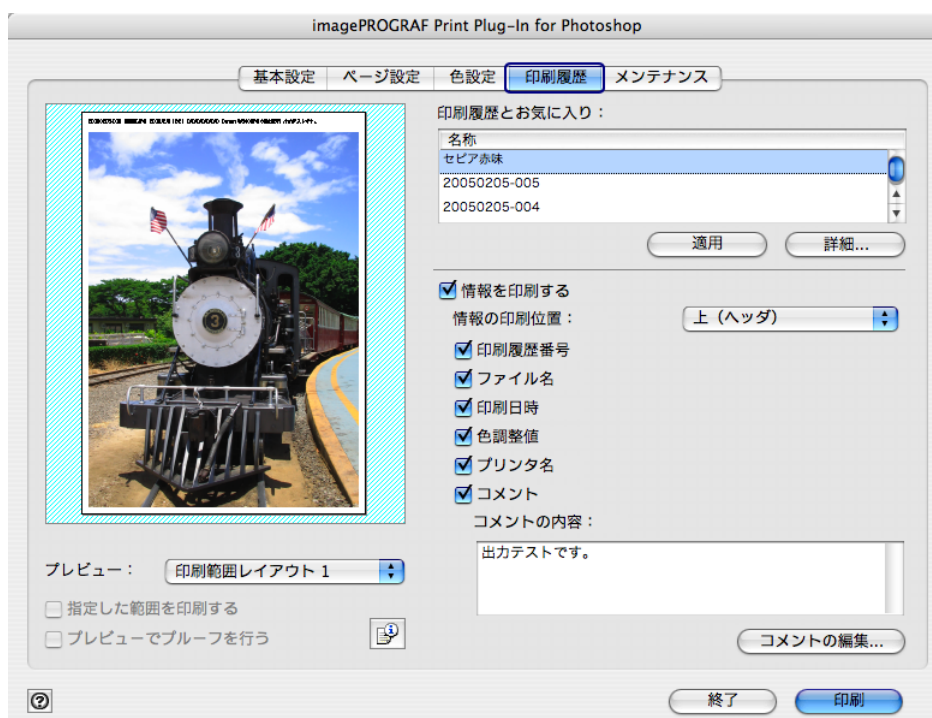
印刷履歴は、100 件まで保存することができます。印刷履歴数が 100 件を超えると、古い順から自動的に削除されます。

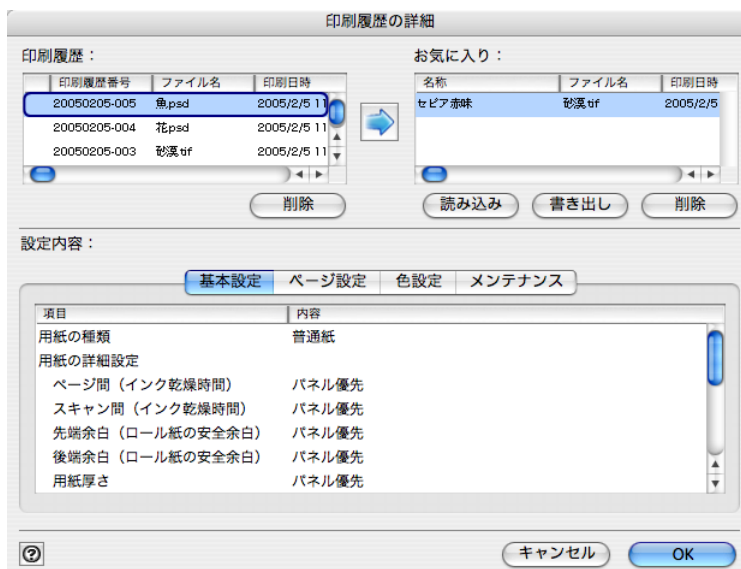
印刷履歴を活用してできることは、以下のとおりです。

「印刷履歴の詳細を確認する」（p.3-38）
「印刷履歴を画像に適用する」（p.3-40）
「印刷履歴をお気に入りに登録する」（p.3-41）
「印刷履歴を削除する」（p.3-44）
「お気に入りの印刷履歴を書き出す」（p.3-46）
「お気に入りに印刷履歴を読み込む」（p.3-48）
「お気に入りから印刷履歴を削除する」（p.3-50）
「情報を画像とともに印刷するよう設定する」（p.3-52）

■ 印刷履歴の詳細を確認する

印刷履歴の詳細を確認することができます。

1. ［印刷履歴］シートを表示します。

2. ［詳細］ボタンを押します。

3. ［印刷履歴の詳細］ダイアログボックスで、［印刷履歴］または［お気に入り］から詳細を確認したい印刷履歴を選択します。

4. ［設定内容］で印刷履歴の詳細を確認して、［OK］ボタンを押します。

- 印刷履歴の詳細内容は、シートを切り替えて表示することができます。
- ［メンテナンス］シートが表示されるのは、W8400PG、W6400PG のみです。

■ 印刷履歴を画像に適用する

過去の印刷履歴を呼び出して、画像に適用することができます。

1. ［印刷履歴］シートを表示します。

2. 必要があれば印刷履歴の詳細を確認します。

詳しくは、「印刷履歴の詳細を確認する」（p.3-38）をご覧ください。

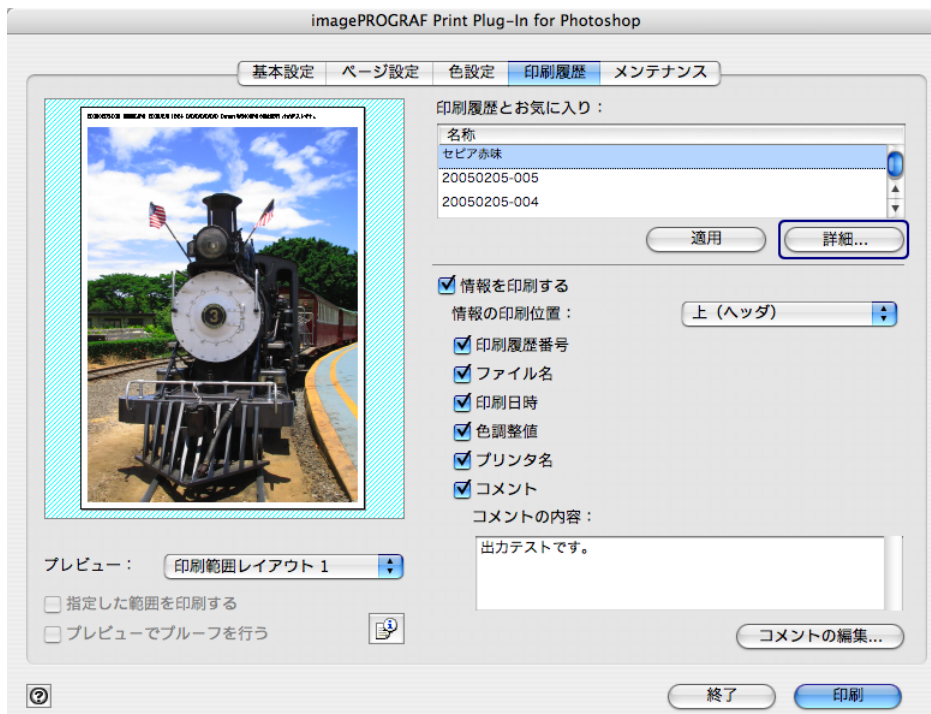
3. ［印刷履歴とお気に入り］から適用したい印刷履歴を選択して、［適用］ボタンを押します。

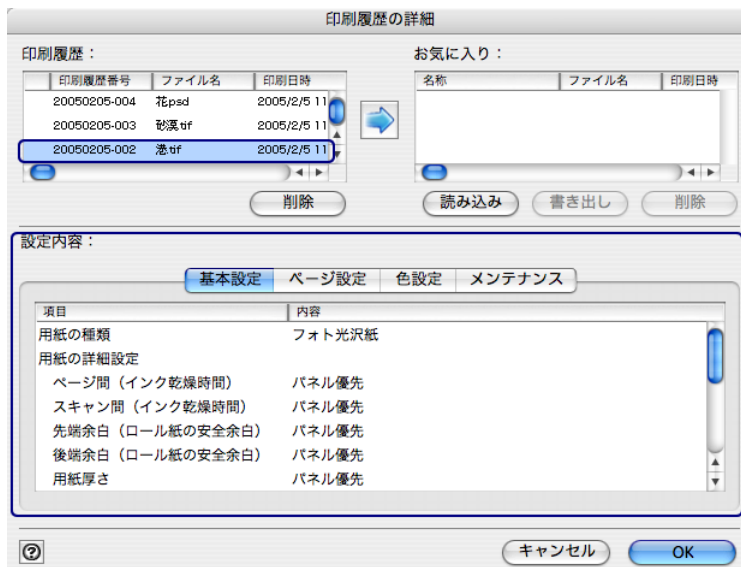
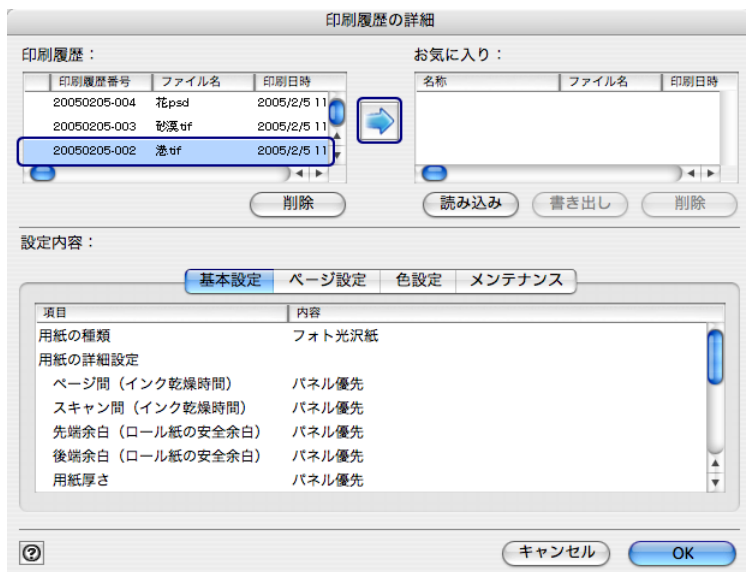
メモ　［印刷とお気に入り］の上部には、お気に入りとして登録された印刷履歴が表示されます。

■ 印刷履歴をお気に入りに登録する

よく使用する印刷履歴をお気に入りとして登録することができます。お気に入りに登録しておくと個別の名称を付けられるだけでなく、簡単に呼び出すこともできます。

メモ　お気に入りに登録できる印刷履歴は、50 件までです。

1. ［印刷履歴］シートを表示します。

2. ［詳細］ボタンを押します。

3. ［印刷履歴の詳細］ダイアログボックスで、［印刷履歴］からお気に入りに登録したい印刷履歴を選択して、［設定内容］で印刷履歴の詳細を確認します。

4. ［印刷履歴］からお気に入りに登録したい印刷履歴を選択して、ボタンを押します。

5. ［お気に入りの追加］ダイアログボックスで、［名称］に印刷履歴の名称を入力し、［コメント］にコメントを入力して、［OK］ボタンを押します。

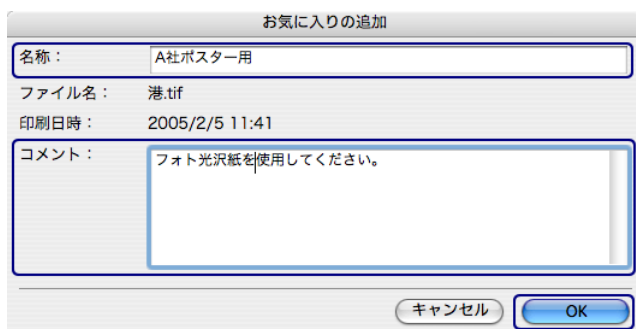
お気に入りの追加

名称：　A社ポスター用

ファイル名：　港.tif

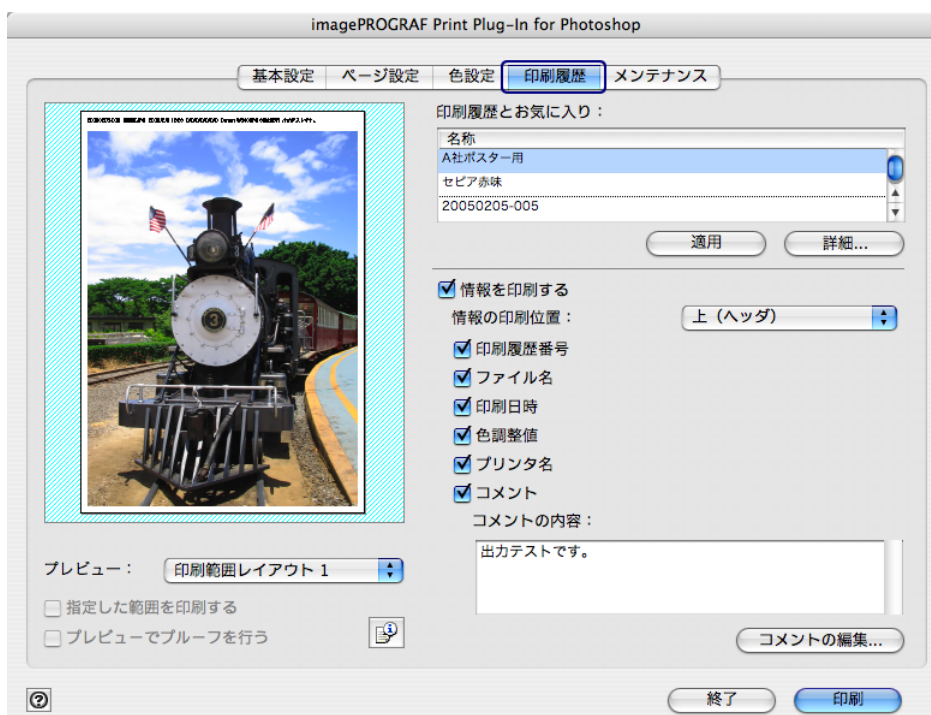
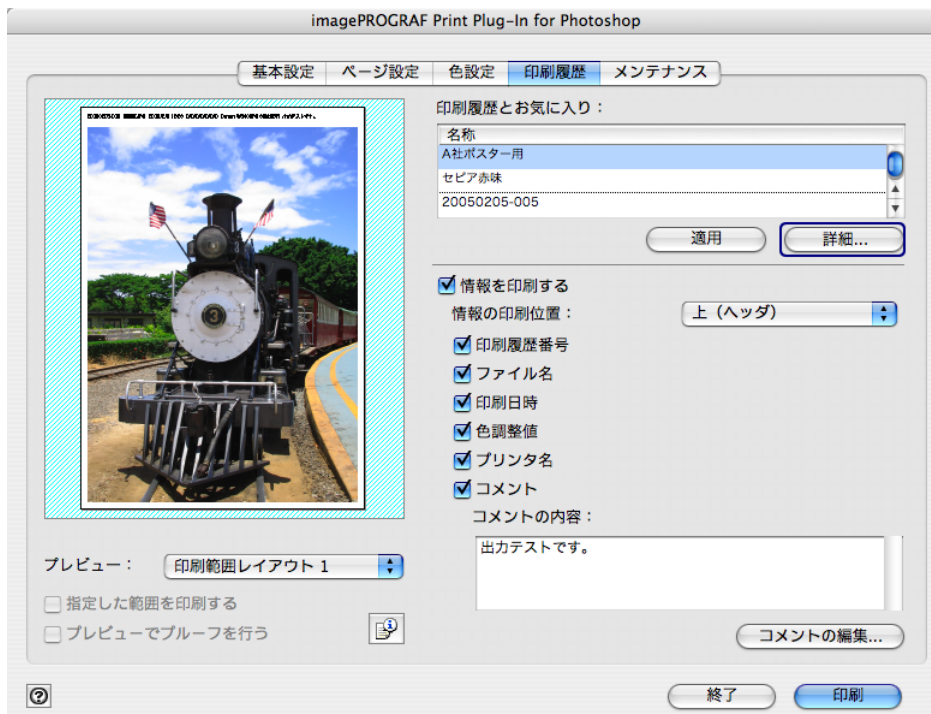
印刷日時：　2005/2/5 11:41

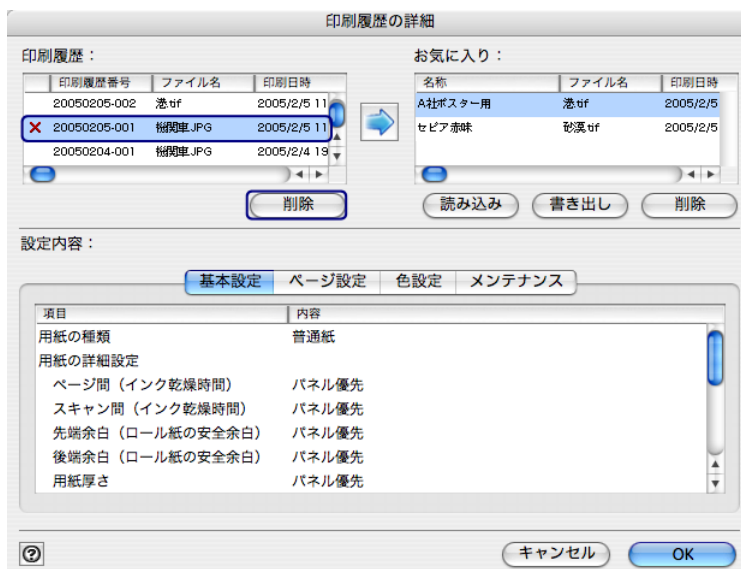
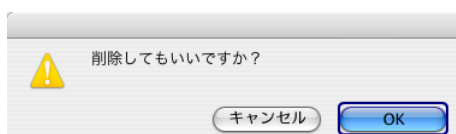
コメント：　フォト光沢紙を使用してください。

キャンセル　OK

6.［OK］ボタンを押して、［印刷履歴の詳細］ダイアログボックスを閉じます。

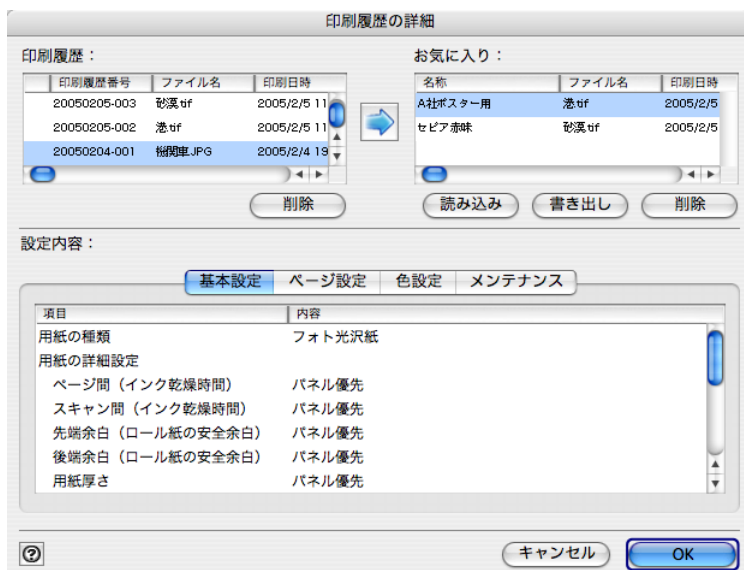
■ 印刷履歴を削除する

印刷履歴を削除することができます。削除した印刷履歴は元には戻せませんので、ご注意ください。

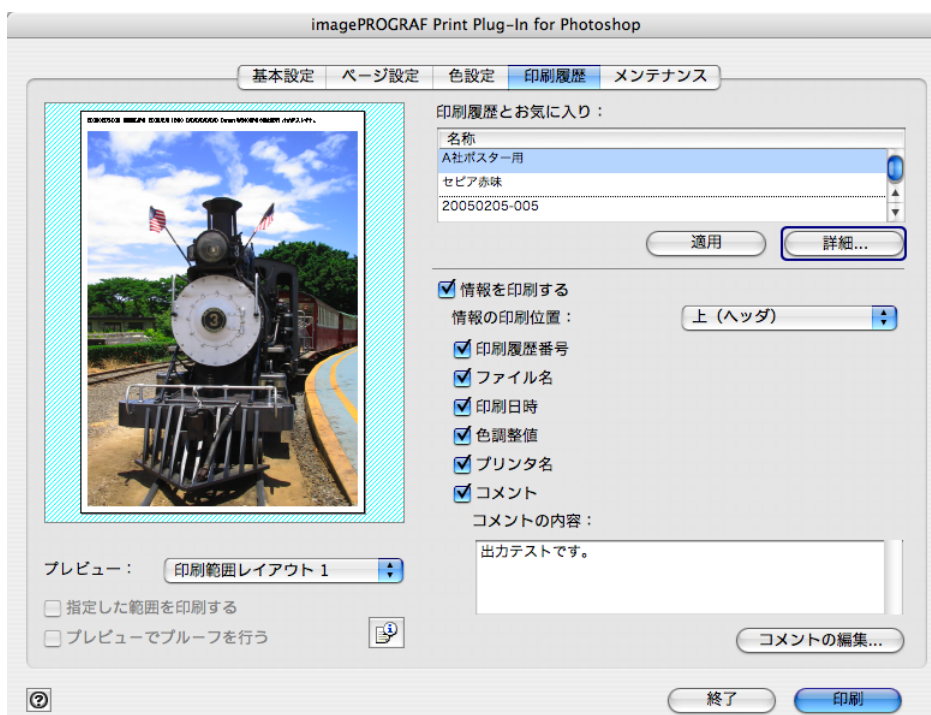
1.［印刷履歴］シートを表示します。

2. ［詳細］ボタンを押します。

3. ［印刷履歴の詳細］ダイアログボックスで、［印刷履歴］から削除したい印刷履歴を選択して、［削除］ボタンを押します。

4. ［OK］ボタンを押します。

印刷履歴が削除されます。

5.［OK］ボタンを押して、［印刷履歴の詳細］ダイアログボックスを閉じます。

■ お気に入りの印刷履歴を書き出す

お気に入りに登録した印刷履歴をファイルに書き出すことができます。

1.［印刷履歴］シートを表示します。

2. ［詳細］ボタンを押します。

3. ［印刷履歴の詳細］ダイアログボックスで、［お気に入り］から書き出したい印刷履歴を選択して、［書き出し］ボタンを押します。

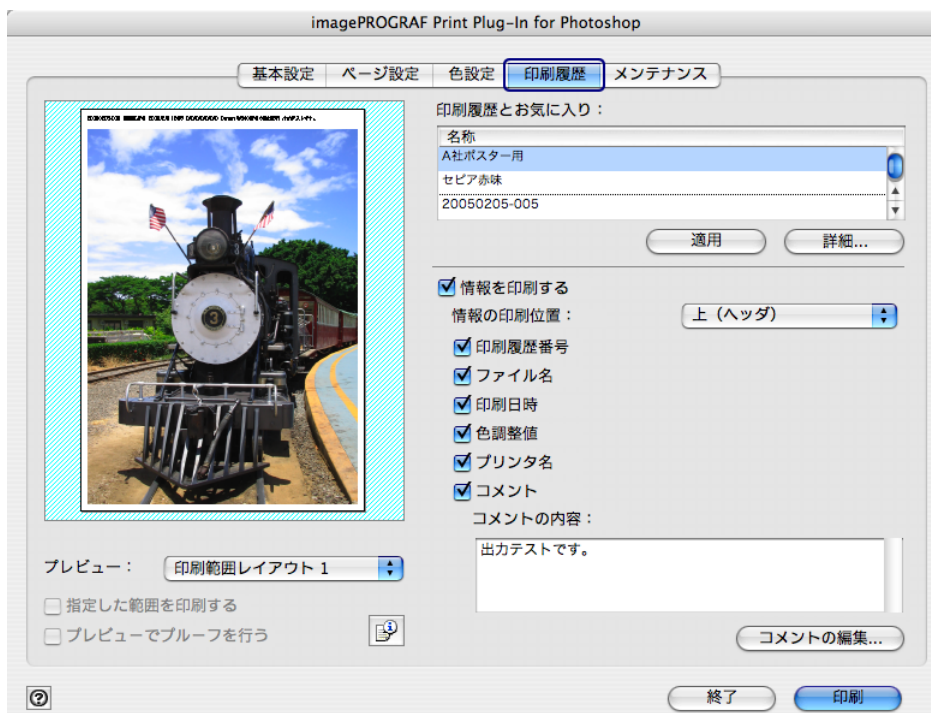
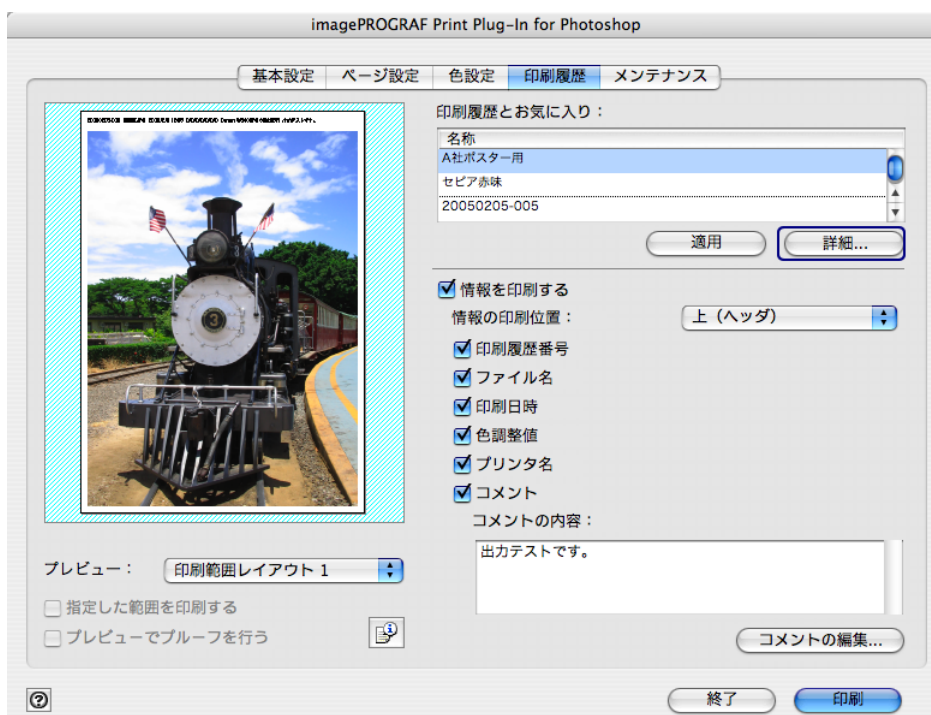
4. ［保存：印刷履歴保存ファイル］ダイアログボックスで、［別名で保存］に印刷履歴のファイル名を入力して、［保存］ボタンを押します。

指定したファイル名で印刷履歴が書き出されます。

5. ［OK］ボタンを押して、［印刷履歴の詳細］ダイアログボックスを閉じます。

■ お気に入りに印刷履歴を読み込む

ファイル形式の印刷履歴を読み込んで、お気に入りに登録することができます。

1. ［印刷履歴］シートを表示します。

2. ［詳細］ボタンを押します。

3. ［印刷履歴の詳細］ダイアログボックスで、［読み込み］ボタンを押します。

4. ［開く：印刷履歴保存ファイル］ダイアログボックスで、読み込みたい印刷履歴ファイルを選択して、［開く］ボタンを押します。

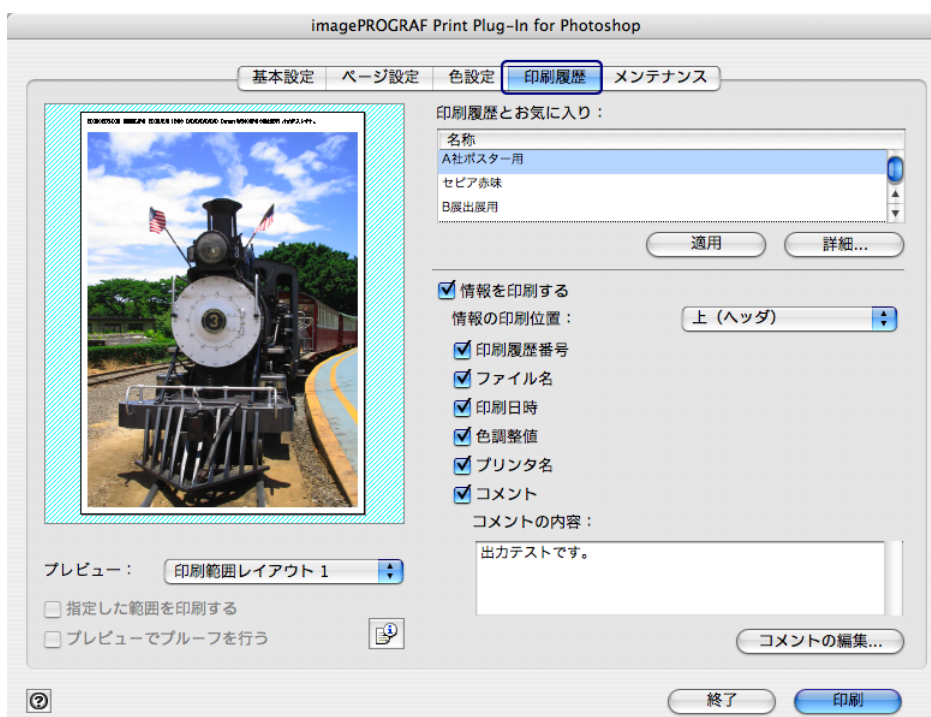
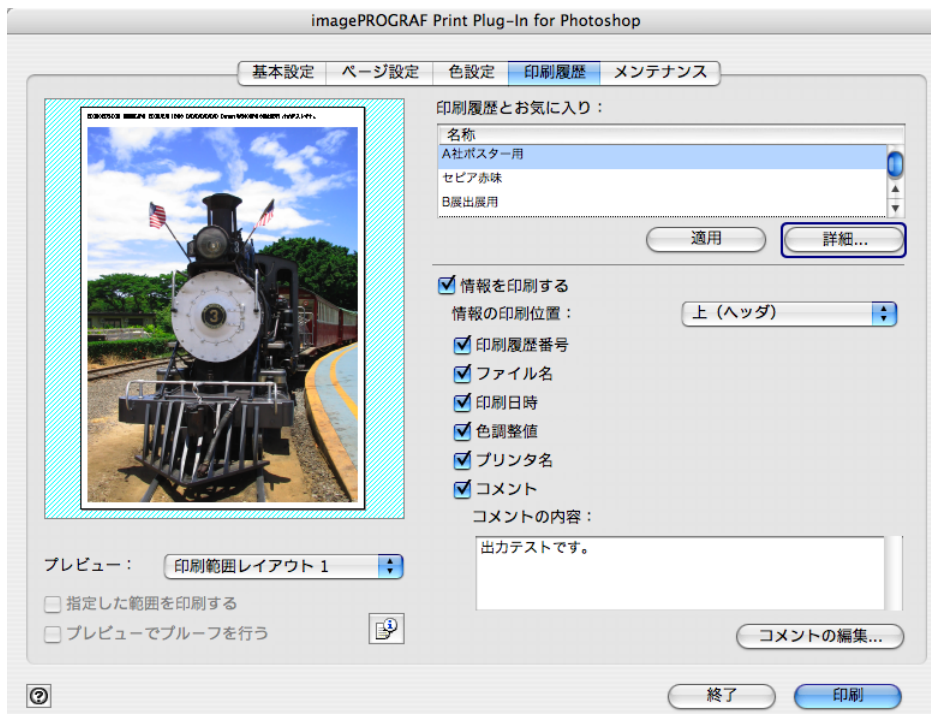
印刷履歴が読み込まれます。

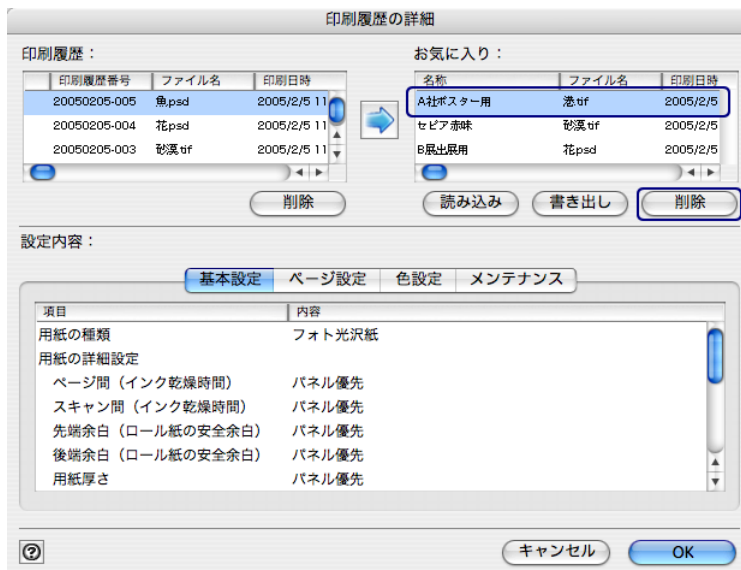
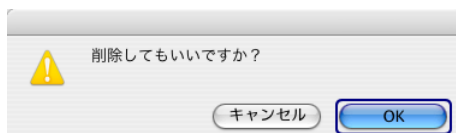
- 印刷履歴ファイルの拡張子は *.pjb です。
- 異なる OS の Print Plug-In で書き出された印刷履歴ファイルを読み込むことはできません。
- 異なるプリンタの Print Plug-In で書き出された印刷履歴ファイルを読み込むことはできません。

5. ［OK］ボタンを押して、［印刷履歴の詳細］ダイアログボックスを閉じます。

■ お気に入りから印刷履歴を削除する

お気に入りに登録した印刷履歴をお気に入りから削除することができます。お気に入りは、50 件を超えて登録することはできません。さらにお気に入りを登録したい場合は、不要なお気に入りを削除してください。

1. ［印刷履歴］シートを表示します。

2. ［詳細］ボタンを押します。

3. ［印刷履歴の詳細］ダイアログボックスで、［お気に入り］から削除したい印刷履歴を選択して、［削除］ボタンを押します。

4. ［OK］ボタンを押します。

［お気に入り］から印刷履歴が削除されます。

5.［OK］ボタンを押して、［印刷履歴の詳細］ダイアログボックスを閉じます。

■ 情報を画像とともに印刷するよう設定する

ファイル名や印刷日時などの印刷に関連した情報を、画像といっしょに印刷することができます。

- フチなし印刷機能を使用して印刷する場合は、印刷に関連した情報は印刷されません。フチなし印刷機能に付いては、「フチなしで印刷する」（p.3-31）をご覧ください。
- 印刷される情報が長すぎて用紙内に収まらない場合は、途中で切れた状態で印刷されます。
- 画像データのサイズや拡大率、印刷位置の値によっては、画像データ上に情報が印刷されてしまうことがあります。
- プリンタ本体で［ガイケイサイズ ユウセン］が［オン］に設定されている場合は、印刷データの下部が一部印刷されないことがあります。

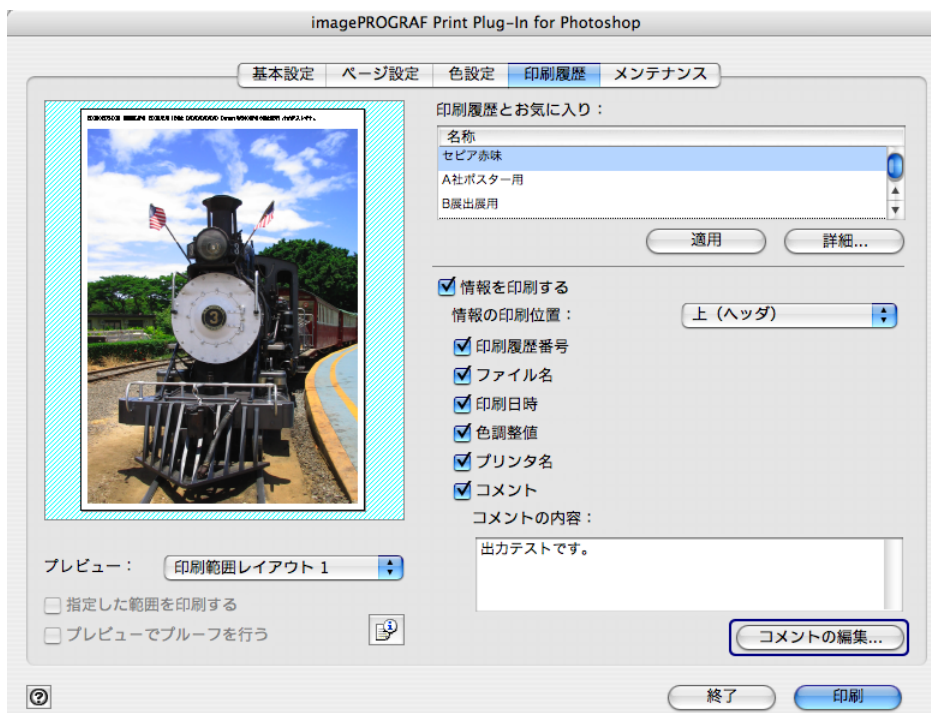
1. ［印刷履歴］シートを表示します。

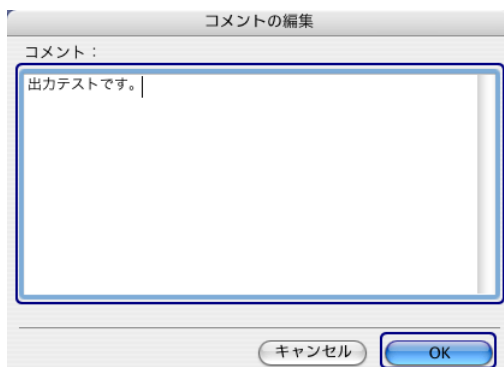
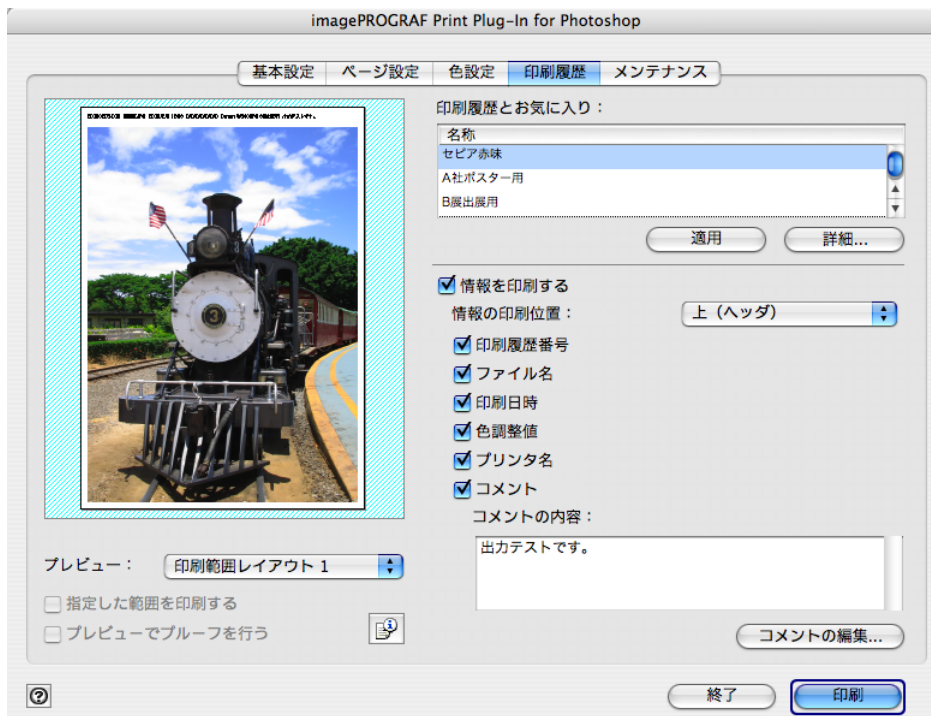
2. ［情報を印刷する］にチェックマークを付けます。

3.［情報の印刷位置］で、情報を印刷したい位置を選択します。

4. 印刷したい情報にチェックマークを付けます。

5. コメントを編集したい場合は、［コメントの編集］ボタンを押します。

コメントの編集が必要ない場合は手順 7 に進んでください。

6. ［コメントの編集］ダイアログボックスで、コメントを入力して、［OK］ボタンを押します。

コメントの編集
コメント：
出力テストです。
キャンセル
OK

7.［印刷］ボタンを押します。

コメントとともに画像が印刷されます。

索引

英数字
16bit，3-14

A
AdobeRGB16bit，3-14

あ
明るさ，2-11
鮮やかさ，2-11
アンインストール，1-7

い
イエロー，2-11
色設定，2-2, 2-11, 3-8
　明るさ，2-11
　鮮やかさ，2-11
　イエロー，2-11
　グレー調整，2-12
　コントラスト，2-11
　シアン，2-11
　標準に戻す，2-12
　マゼンタ，2-11
インクの種類を変更，2-13
印刷，2-4
　印刷後にプラグインを閉じる，2-7
　印刷の向き，2-9
　印刷レイアウト，2-9
　情報を印刷する，2-13, 3-52
　フチなし印刷，3-31
印刷履歴，2-2, 2-12, 3-38
　印刷履歴とお気に入り，2-12
　印刷履歴の一覧，2-14
　印刷履歴の削除，2-15, 3-44
　印刷履歴の詳細，2-12, 2-14, 3-38
　お気に入り，2-15
　お気に入りに登録，2-15, 3-41
　お気に入りの削除，2-15, 3-50
　書き出し，2-15, 3-46
　情報を印刷する，2-13, 3-52
　設定内容，2-15
　適用，2-12, 3-40
　読み込み，2-15, 3-48
インストール，1-2

お
お気に入り，2-15
　お気に入りの削除，3-50
　書き出し，3-46
　適用，3-40
　読み込み，3-48

か
拡大／縮小印刷，2-8, 3-20
　出力用紙サイズに合わせる，3-20
　倍率を指定する，3-27
　ロール紙の幅に合わせる，3-23
画像のプロパティ，2-4
カラーマッチング，3-12

き
起動，1-5
基本設定，2-2, 2-5, 3-4, 3-12, 3-15, 3-18, 3-34
　印刷後にプラグインを閉じる，2-7
　出力プロファイル，2-6
　バージョン情報，2-7
　標準に戻す，2-7
　部数，2-7
　プラグインへの入力解像度，2-6
　プラグインへの入力ビット数，2-6
　プリンタの出力解像度とパス数，2-6
　プリンタの選択，2-5
　マッチング方法，2-7
　用紙の種類，2-5
給紙方法，2-10

く
グレー調整，2-12

こ
コントラスト，2-11

し
シアン，2-11
指定した範囲を印刷する，2-3
終了，2-4
出力プロファイル，3-18, 2-6, 3-12
出力用紙サイズ，2-9
情報を印刷する，2-13, 3-52

と
動作環境，1-1

に
入力画像サイズ，2-8

は
バージョン情報，2-7

ひ
標準に戻す
　色設定，2-12
　基本設定，2-7
　ページ設定，2-10

ふ
部数，2-7
フチなし印刷，2-8, 3-31
プラグインへの入力解像度，2-6
プラグインへの入力ビット数，2-6
プリンタ，1-1
プリンタの出力解像度とパス数，2-6
プリンタの選択，2-5
プレビュー，2-2, 3-1, 3-8
　印刷範囲レイアウト1，3-1
　印刷範囲レイアウト2，3-2
　画像，3-3
　プレビューでプルーフを行う，2-3

へ
ページ設定，2-2, 2-8, 3-20, 3-31
　印刷の向き，2-9
　印刷レイアウト，2-9
　拡大／縮小印刷，2-8
　給紙方法，2-10
　出力用紙サイズ，2-9
　入力画像サイズ，2-8
　標準に戻す，2-10
　フチなし印刷，2-8
　ロール紙オプション，2-10
ヘルプ，2-4

ま
マゼンタ，2-11
マッチング方法，3-12

め
メンテナンス，2-2, 2-13
　インクの種類を変更，2-13

よ
用紙の種類，2-5
用紙の詳細設定，3-35

ろ
ロール紙オプション，2-10